

地域共生社会を支援する

第1回

日時 2023年12月15日(金曜日) 14:00~17:00

会場 高知県立大学 永国寺キャンパス 教育研究棟 A101 講義室

第1部

14:00~ 学長挨拶

14:10~ 基調講演 「自然に健康になれるまちづくり」

近藤 克則 先生 (千葉大学予防医学センター・社会予防医学研究部門・教授)

(休憩 10分間)

第2部

15:20~ シンポジウム 「産官学民連携による健康まちづくり」

●15:20~ 事例発表① 渡邊 健 室長 (高知県 子ども・福祉政策部 地域福祉政策課 地域共生社会室)

●15:40~ 事例発表② 山下 隆文 課長補佐 (高知市 健康福祉部 地域共生社会推進課)

●16:00~ 事例発表③ 西本 久美香 事務局長 (特定非営利活動法人ふくしねっと CoCo てらす)

速川 志保 事務局次長 (特定非営利活動法人ふくしねっと CoCo てらす)

(休憩 10分間)

●16:30~ 意見交換会

指定討論者 近藤 克則 先生

コーディネーター 矢吹 知之 (高知県立大学 社会福祉学部准教授)

17:00 閉会



高知県立大学10年戦略

戦略3：地域共生社会を支援する実践的な教育・研究

三つのセンターの機能が新機構で一つにまとまり
"リ・デザイン"プロジェクトに向かって動き出す

高知県立大学

高知県立大学は地域共生社会を支援します

国は、令和6年度から今までの健康日本21の取組を踏まえて「二十一世紀における第三次国民健康づくり運動（健康日本21（第三次））」の推進を厚生労働省告示第207号（R5.5.31）で発出した。

国民の健康の増進の推進に関する基本的な方向として①健康寿命の延伸と健康格差の縮小、②個人の行動と健康状態の改善、③社会環境の質の向上、④ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり、の四点が示されている。

高知県は人口減少や少子高齢化に加え、昨今のコロナ禍などにより人との接触機会が減ってきたことで地域とのつながりが弱まってきている。最近では、ヤングケアラー・ダブルケア・8050問題といった複雑化・複合化した課題が増えている。

地域共生社会を支援する新機構を立ち上げます

高知県立大学は、健康・医療・福祉・教育に携わる人材を育成・輩出し、県・市町村・県民とのネットワークを活性化させることで、県民大学としての役割を果たしてきた。

最前線で活躍してきた二つのセンター、すなわち、地域教育研究センターと健康長寿センターに、総合情報センターを加えて、新たな機構として立ち上げ、地域教育研究センター、健康長寿**研究**センター、総合情報**研究**センターとして高知型「地域共生社会」を支援できる組織にアップグレードする。

高知型「地域共生社会」の取組みが高知県民の健康や幸福感の向上につながるのか、IT・デジタル技術や生成AIを活用し、高知県民の健康情報DXを構築して、科学的に検証・評価していきたい。

□地域が抱える課題を解決するためには、保健・医療・福祉機関だけでなく分野を超えたつながりを意識し、住民などを巻き込んだ地域全体での取組みは**地域共生社会**を実現する上で大変重要となります。

□高知県立大学は、既存の三つのセンター機能を一つにまとめた新たな機構を立ち上げ、地域共生社会の実現を支援する実践的な教育・研究を行います。これらを通じて、地域社会のあらゆる面が**“リ・デザイン（発展・再構築）”**されることを目指します。

“リ・デザイン”PJ

地域をリ・デザインする

コミュニティをリ・デザインする

まち並みをリ・デザインする

人のつながりをリ・デザインする

働き方をリ・デザインする

仕事をリ・デザインする

文化をリ・デザインする

祭りをリ・デザインする

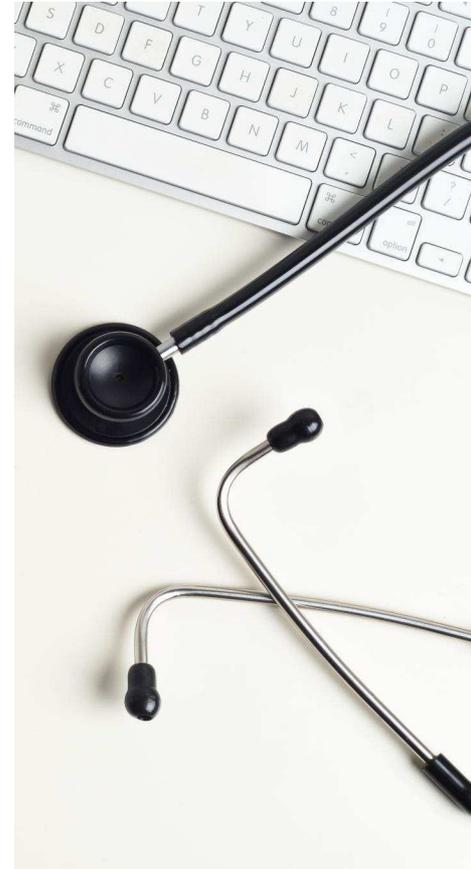
遊びをリ・デザインする

「地域共生社会を支援する」

高知県立大学連続講座

招 聘 講 師

- I. **近藤 克則** 先生（千葉大学予防医学センター・社会予防医学部門・教授）2023年12月15日
講演「自然に健康になれるまちづくり」
シンポジウム「産官学民連携による健康まちづくり」
- II. **近藤 尚己** 先生（京都大学医学研究科・社会健康医学系専攻・国際保健学講座・社会疫学・教授） 2024年1月23日
講演「社会的処方：全人的ケアを進めるための地域連携の仕組みづくりの現状と展望」
- III. **西 智弘** 先生（川崎市立井田病院・医師、一般社団法人プラスケア代表理事） 2024年3月16日
講演「社会的処方～まちとのつながりで人が元気になる方法」
シンポジウム開催予定



近藤克則 先生プロフィール

千葉大学予防医学センター・社会予防医学研究部門・教授

- ✓1983年千葉大学医学部卒業。東京大学医学部附属病院リハビリテーション部医員、船橋二和（ふたわ）病院リハビリテーション科科長などを経て、1997年日本福祉大学助教授。University of Kent at Canterbury（イギリス）客員研究員（2000-2001）、日本福祉大学教授を経て、2014年から現職（千葉大学予防医学センター・社会予防医学研究部門・教授）。2016年から国立長寿医療研究センター研究所・老年学・社会科学センター・老年学評価研究部長を併任。2018年から一般社団法人・日本老年学的評価研究機構・代表理事（併任）。
- ✓受賞歴：「健康格差縮小を目指した社会疫学研究」で2020年度「日本医師会医学賞」、 「健康格差社会 - 何が心と健康を蝕むのか」（医学書院、2005）で社会政策学会賞（奨励賞）
- ✓著書等：「健康格差社会への処方箋」医学書院(2017).「研究の育て方」医学書院(2018).「長生きできる町」角川新書(2018).「健康格差社会（第2版）何が心と健康を蝕むのか」医学書院(2022).



基調講演

「自然に健康になれる

まちづくり」

千葉大学予防医学センター

社会予防医学研究部門

教授 近藤 克則 氏

..... Memo

.....

官学民連携による 自然に健康になれるまちづくり



千葉大学予防医学センター

国立長寿医療研究センター

一般社団法人日本老年学的評価研究(JAGES)機構
Japan Gerontological Evaluation Study

近藤克則



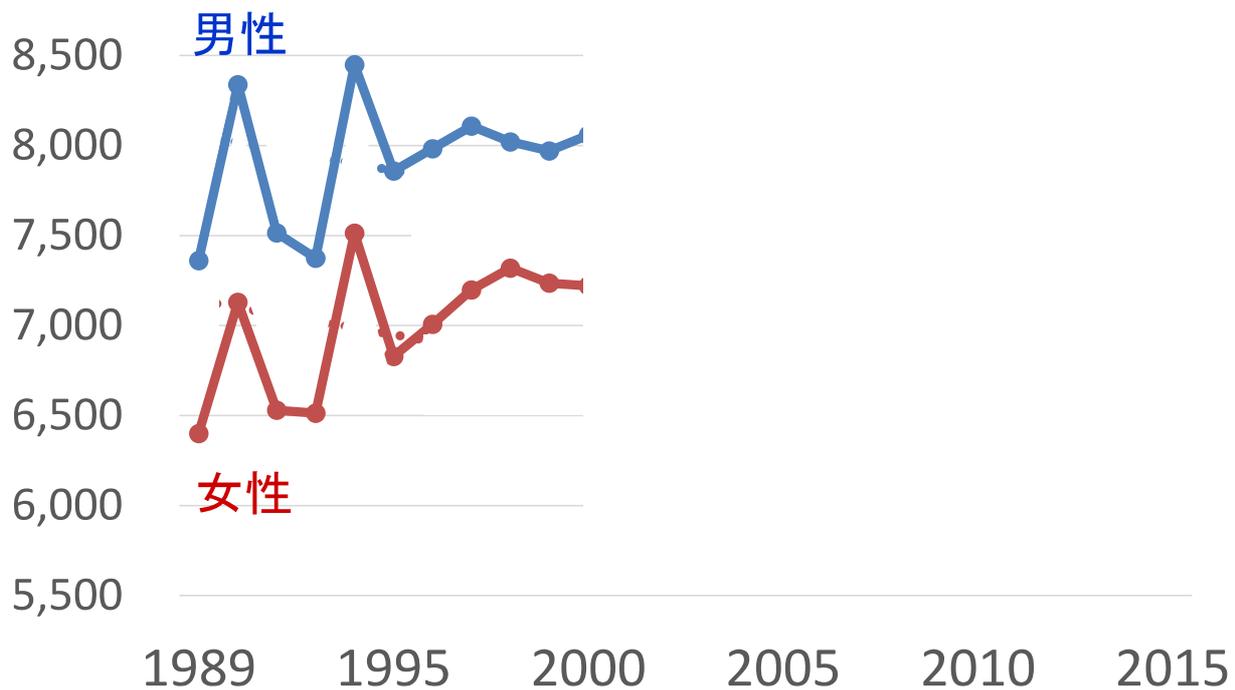
CHIBA UNIVERSITY 1

Contents



- 1.なぜ地域・社会環境重視に？
- 2.地域診断からの健康まちづくり
- 3.官学民連携によるまちづくり

1日平均歩数は20年間で 国民健康・栄養調査(20歳以上)



http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kenkounippon21/eiyouchousa/keinen_henka_shintai.html
歩数の平均値・標準偏差の年次推移(20歳以上)から作図

介護予防教室 閑古鳥

介護予防 出足は低調

予備軍把握 5%目標
指定市0.2%

症状なく「私は元気」

2006.10.29
朝日新聞

・介護予防事業の対象となる特定高齢者が、把握できない。参加希望者がいない。

・目標の高齢者人口5% vs 現状は0.2%

閑古鳥 予備軍伸びぬ参加

予備軍把握 5%目標 指定市0.2%

症状なく「私は元気」

2006.10.29 朝日新聞

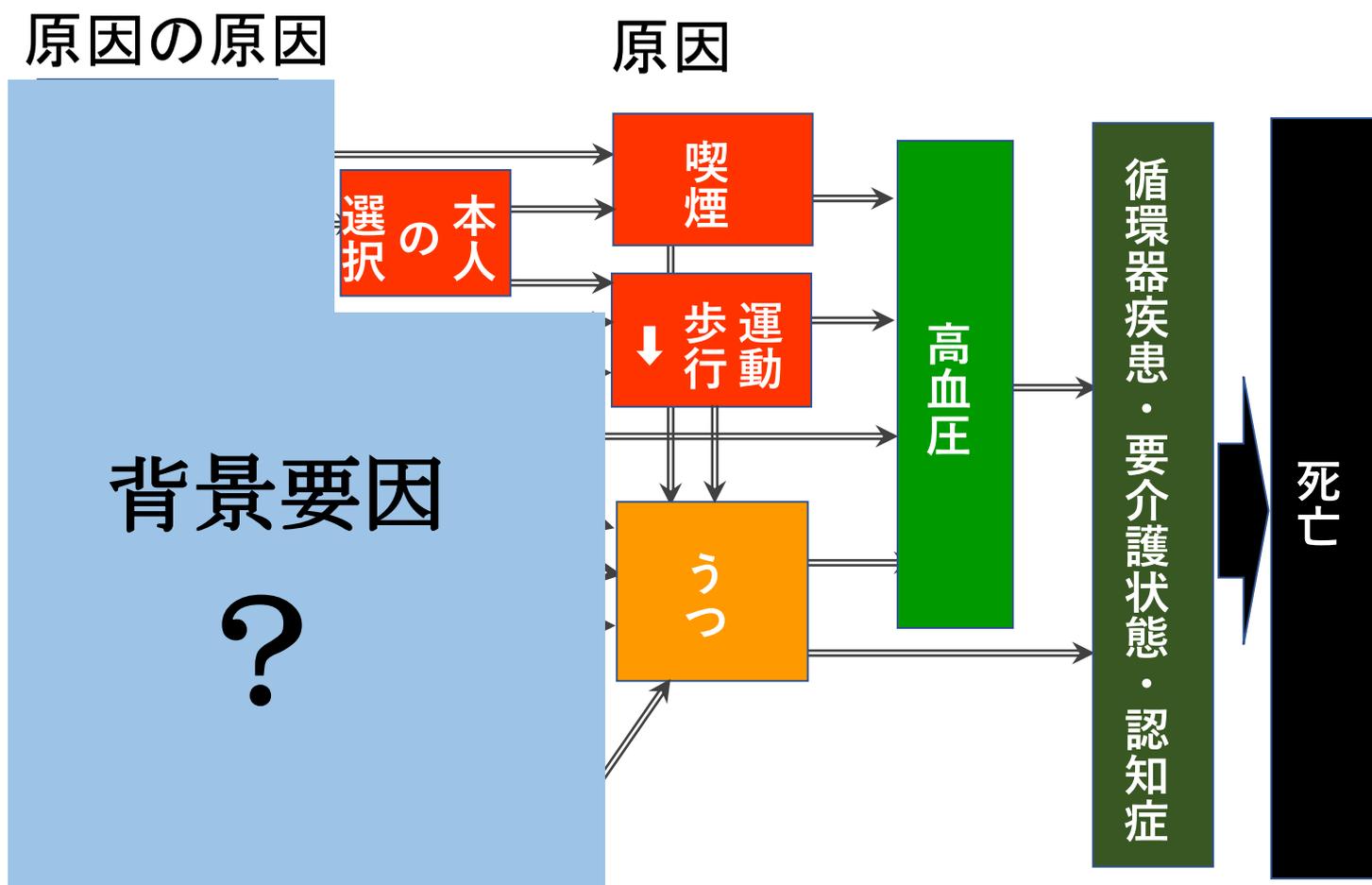
予備軍把握 5%目標 指定市0.2%

症状なく「私は元気」

2006.10.29 朝日新聞

- ・介護予防事業の対象となる特定高齢者が、把握できない。参加希望者がいない。
- ・目標の高齢者人口5% vs 現状は0.2%

健康の決定要因



REVIEW

<https://ijbnpa.biomedcentral.com/articles/10.1186/s12966-017-0558-z>

Open Access

David W. Barnett¹, Anthony Barnett¹, Andrea Nathan¹, Jelle Van Cauwenberg^{2,3}, Ester Cerin^{1,4,5*} and on behalf of the Council on Environment and Physical Activity (CEPA) – Older Adults working group



Built environmental correlates of older adults' total physical activity and walking: a systematic review and meta-analysis

International Journal of Behavioral Nutrition and Physical Activity (2017) 14:103 DOI 10.1186/s12966-017-0558-z

ウォーカブル (100論文の6概念26環境要因) だと運動・歩行量多い

- Walkability 歩きやすさ
- Safety from crime 犯罪からの安全
- Overall access to destinations and services 目的地へのアクセス
- Recreational facilities レクリエーション施設
- Parks/public open space 公園／オープンスペース
- Shops/commercial destinations 商店・商業施設
- Greenery and aesthetically pleasing scenery 緑や美しい町並み
- Walk-friendly infrastructure 歩行者に優しい構造
- Access to public transport 公共交通機関

日本老年学的評価研究 JAGES調査フィールド

■ 2022調査協力保険者
■ 過去の協力保険者

JAGES 2022

参加市町村数 75
送付数 約33.9万人
回収数 約22.8万人
回収率 約67.4 %
(2023年3月13日時点)

JAGES 2019/20

参加市町村数:66 送付数 約38.5万人
回収数 約26.5万人 回収率 約68.8%

JAGES 2016/17

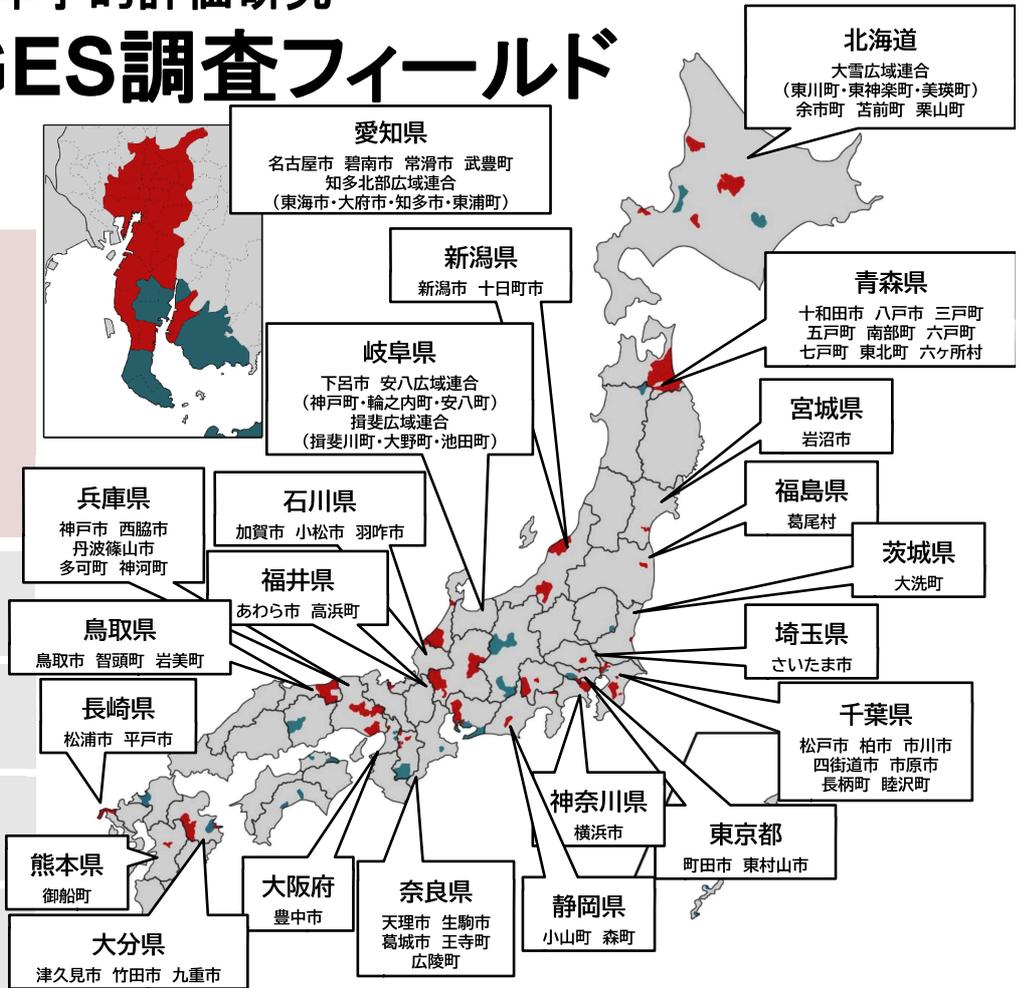
参加市町村数:41 送付数 約30万人
回収数 約20万人 回収率 約69.5%

JAGES 2013/14

参加市町村数 30 送付数 約19.5万人
回収数 約13.8万人 回収率 約70.8%

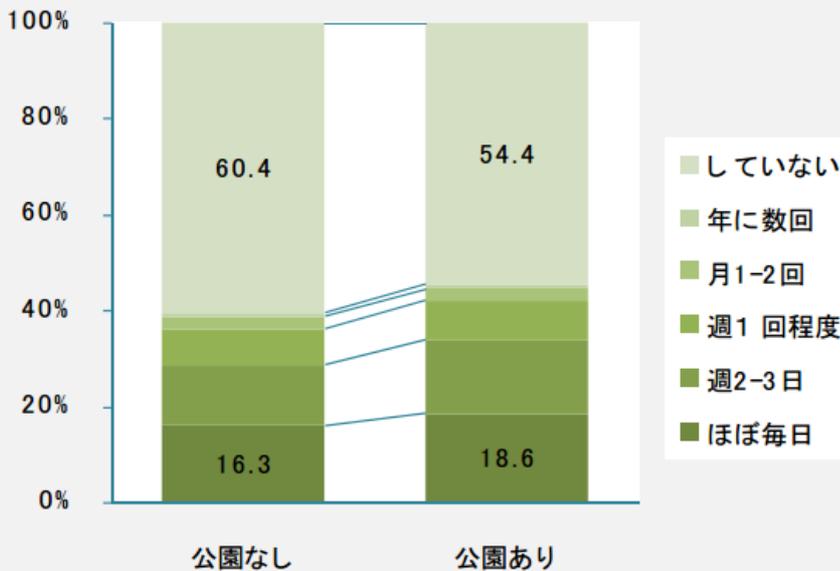
JAGES 2010/11

参加市町村数 31 送付数 約16.9万人
回収数 約11.2万人 回収率 約66.3%



公園の近くに住む人は 1.2倍頻繁に運動する

家の近く (1km 以内) における公園の有無と
運動頻度の割合 (単純集計)



都市計画は
健康政策でも
ある

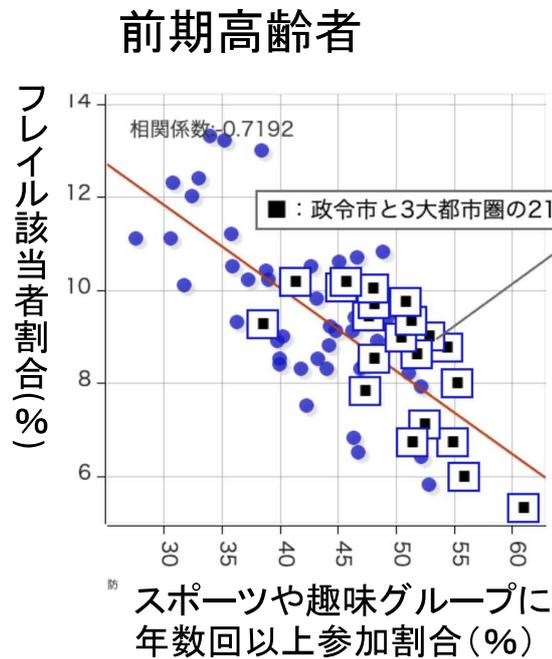
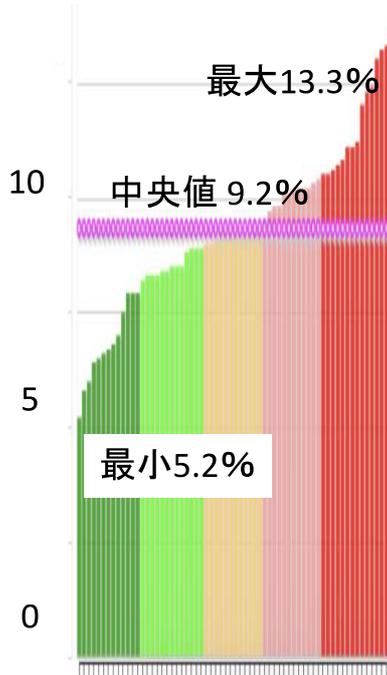
Hanibuchi T, Kawachi I, Nakaya T, Hirai H, Kondo K. 2011. Neighborhood built environment and physical activity of Japanese older adults: Results from the Aichi Gerontological Evaluation Study (AGES). BMC Public Health 11: 657 (doi: 10.1186/1471-2458-11-657).

スポーツや趣味グループに年数回以上参加

社会参加者が多い市・町ほど フレイル該当者が少ない

JAGES 2019

N=64市町村



49	重要:30分以上歩く者の割合	-0.5218
74	防災:1日の合計歩行時間30分以上の者の割合	-0.5218
73	防災:個人および地域コミュニティレベルの社会的結びつき	-0.5227
86	防災:地震保険加入者割合	-0.5265
25	コア:ソーシャル・キャピタル得点 (助け合い)	-0.5284
15	コア:学習・教養サークル参加者割合	-0.5332
14	コア:ボランティア参加者割合	-0.5476
41	重要:通いの場参加者割合	-0.5539
71	防災:ソーシャルサポートある者の割合	-0.5786
12	コア:スポーツの会参加者割合	-0.5869
24	コア:ソーシャル・キャピタル得点 (連帯感)	-0.6027
27	重要:ポジティブ感情がある者の割合	-0.6030
20	コア:情緒的(心配事や愚痴)サポート提供者割合	-0.6105
26	重要:主観的健康感が良い者の割合	-0.6166
23	コア:ソーシャル・キャピタル得点 (社会参加)	-0.6373
13	コア:趣味の会参加者割合	-0.6422
66	防災:スポーツ会や趣味グループを年数回以上参加者の割合	-0.7192
31	重要:フレイルなし割合	-0.7653

いろいろな社会参加や
歩行時間・交流・サポート
多いとフレイル少ない

武豊町【憩いサロン・各会場の取り組み】

【主な活動・・・季節のイベント】

☆新年かくし芸大会

☆ひな祭り

☆夏まつり

☆ミニ運動会

☆クリスマス会



(盆踊り)



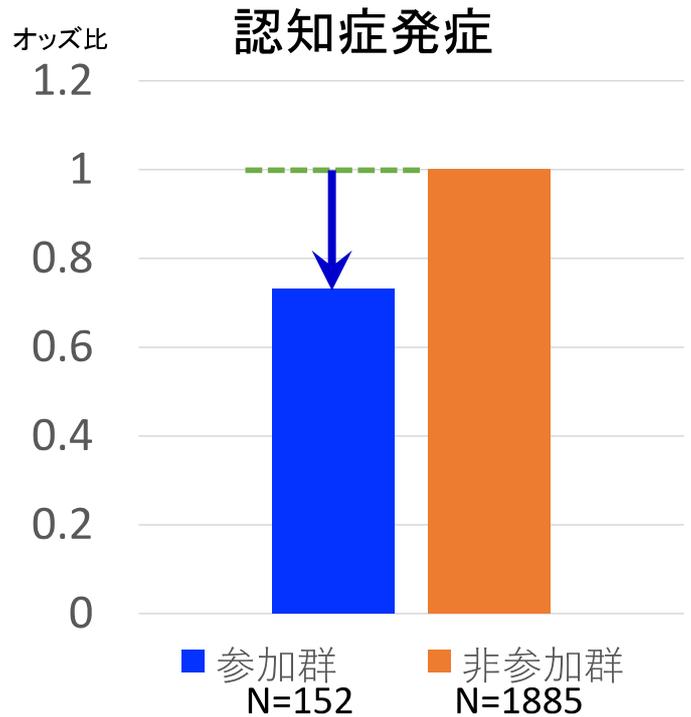
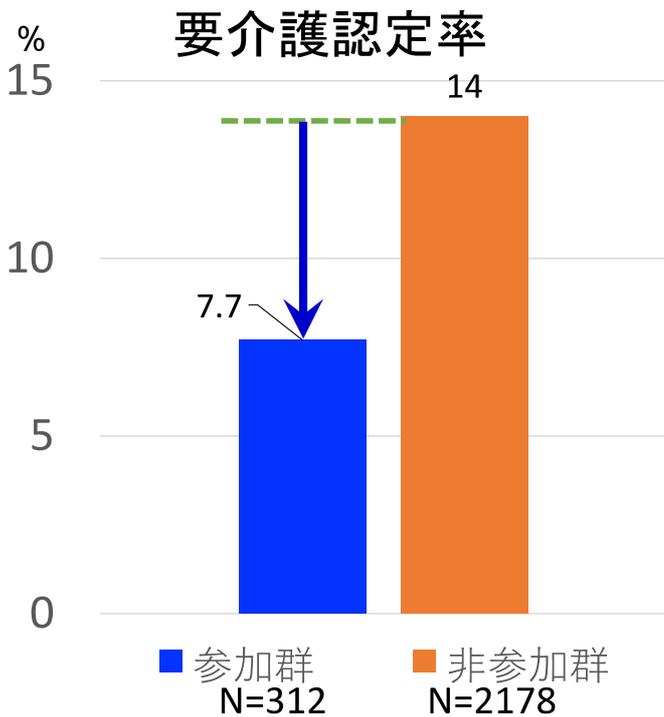
(玉入れ)

サロン参加群で要介護認定率・認知症発症は低い



2007年から2012年までの5年間で要介護認定率は約半分に（6.3ポイント）抑制

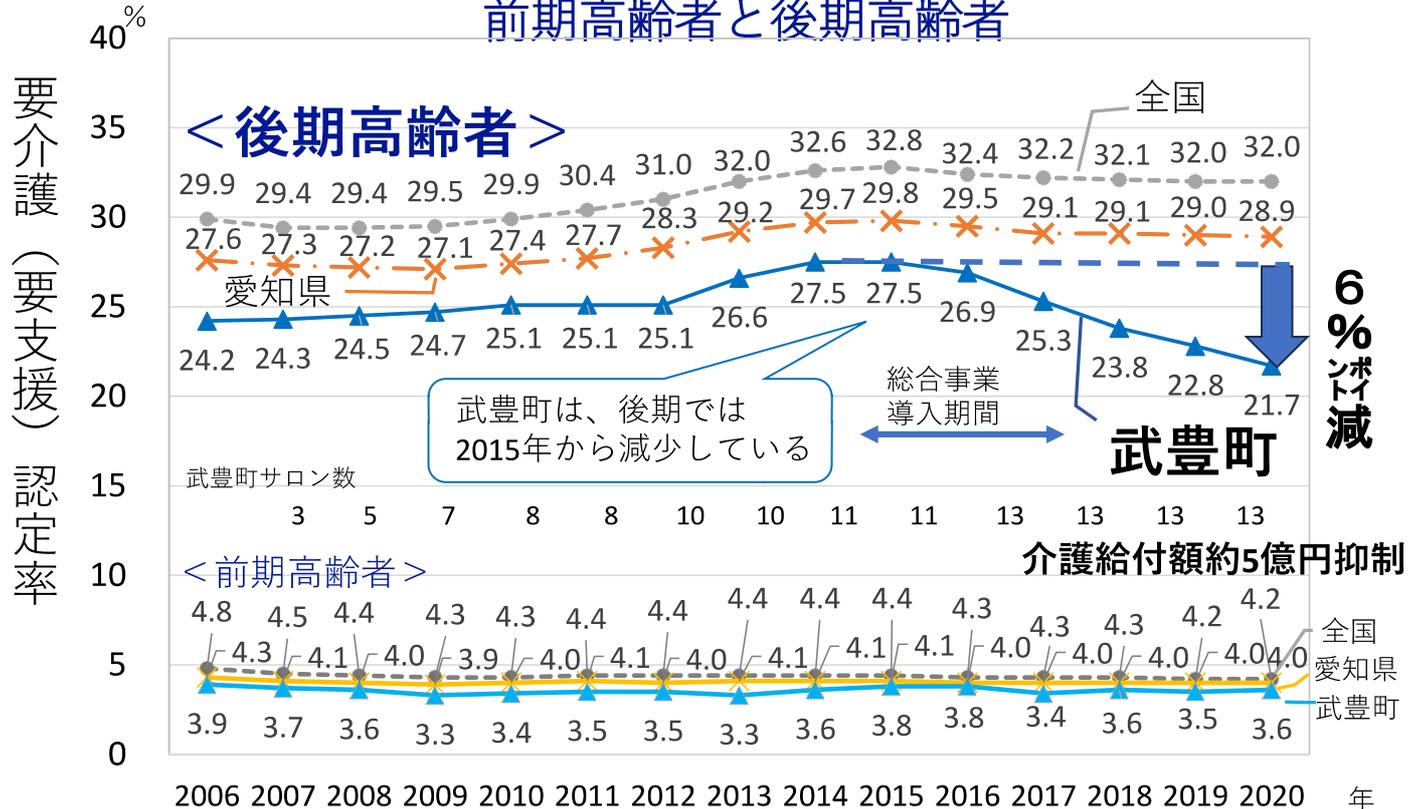
7年間の追跡でサロン参加群で認知症（認知症度ランク1以上）発症が3割減



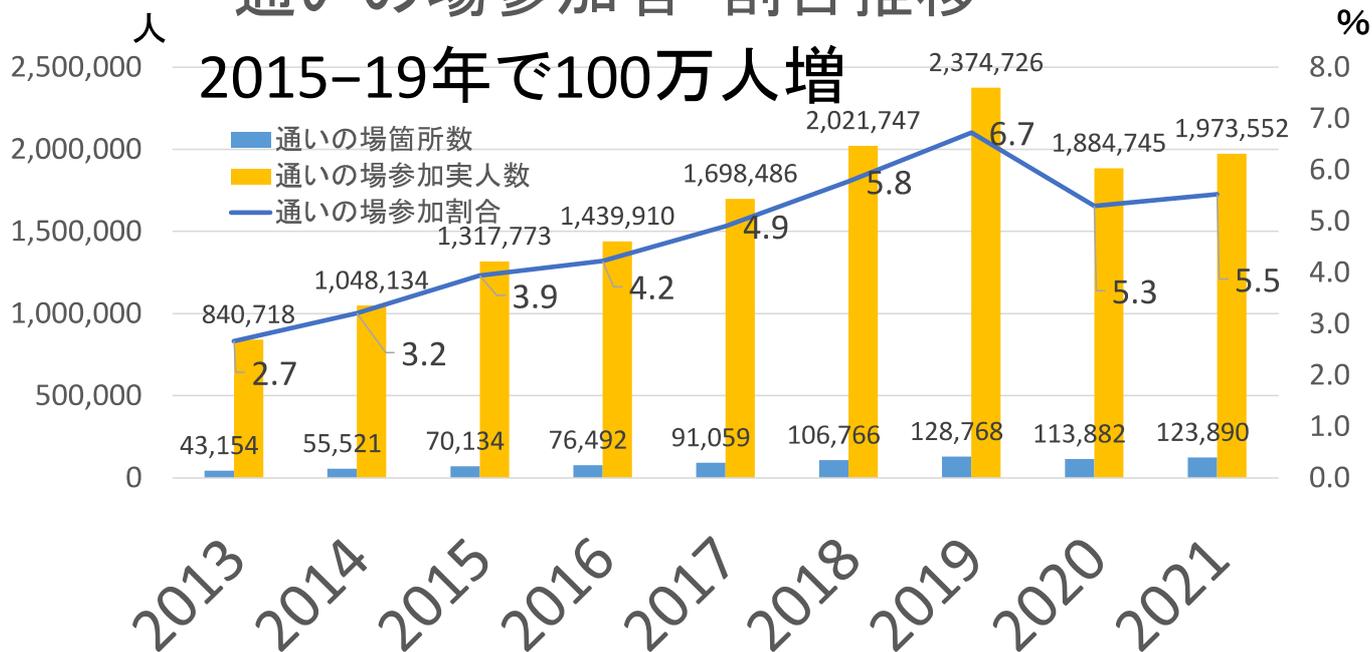
Hikichi, H. et al.: Effect of community intervention program promoting social interactions on functional disability prevention for older adults: propensity score matching and instrumental variable analyses, JAGES Taketoyo study. Journal of Epidemiology and Community Health (doi: 10.1136/jech-2014-205345)

Hikichi, H., Kondo, K., Takeda, T., and Kawachi, I.: Social interaction and cognitive decline: Results of 7-years community intervention. Alzheimer's & Dementia: Translational Research & Clinical Interventions 3 (1): 23-32, 2017.

要介護（要支援）認定率—全国・愛知県・武豊町 前期高齢者と後期高齢者



通いの場参加者・割合推移



通いの場・箇所数：厚生労働省 介護予防・日常生活支援総合事業報告より

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/yobou/index.html

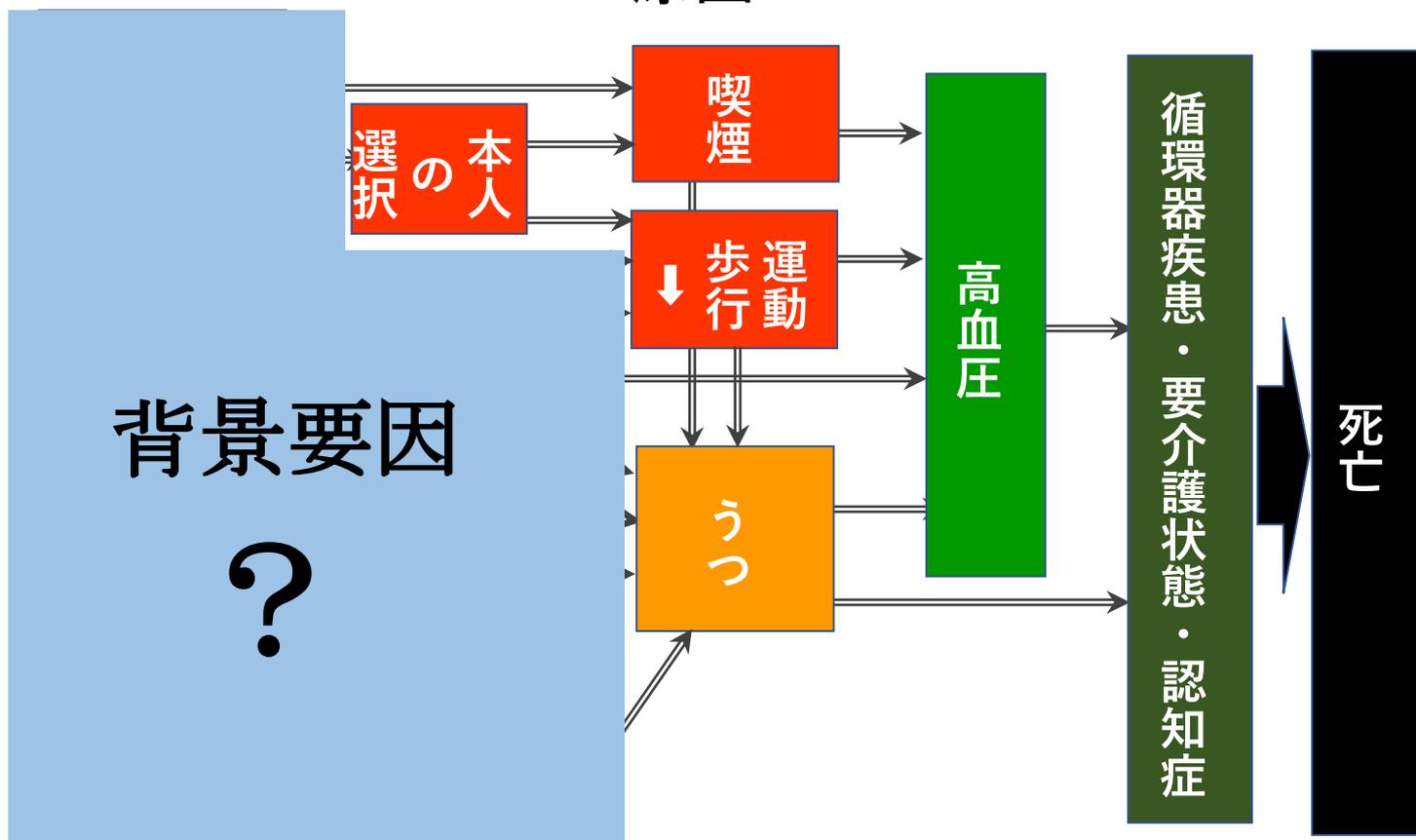
高齢者数：総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査より

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00200241&tstat=000001039591&cycle=7&tclass1=000001039601&tclass2val=0>

健康の決定要因

原因の原因

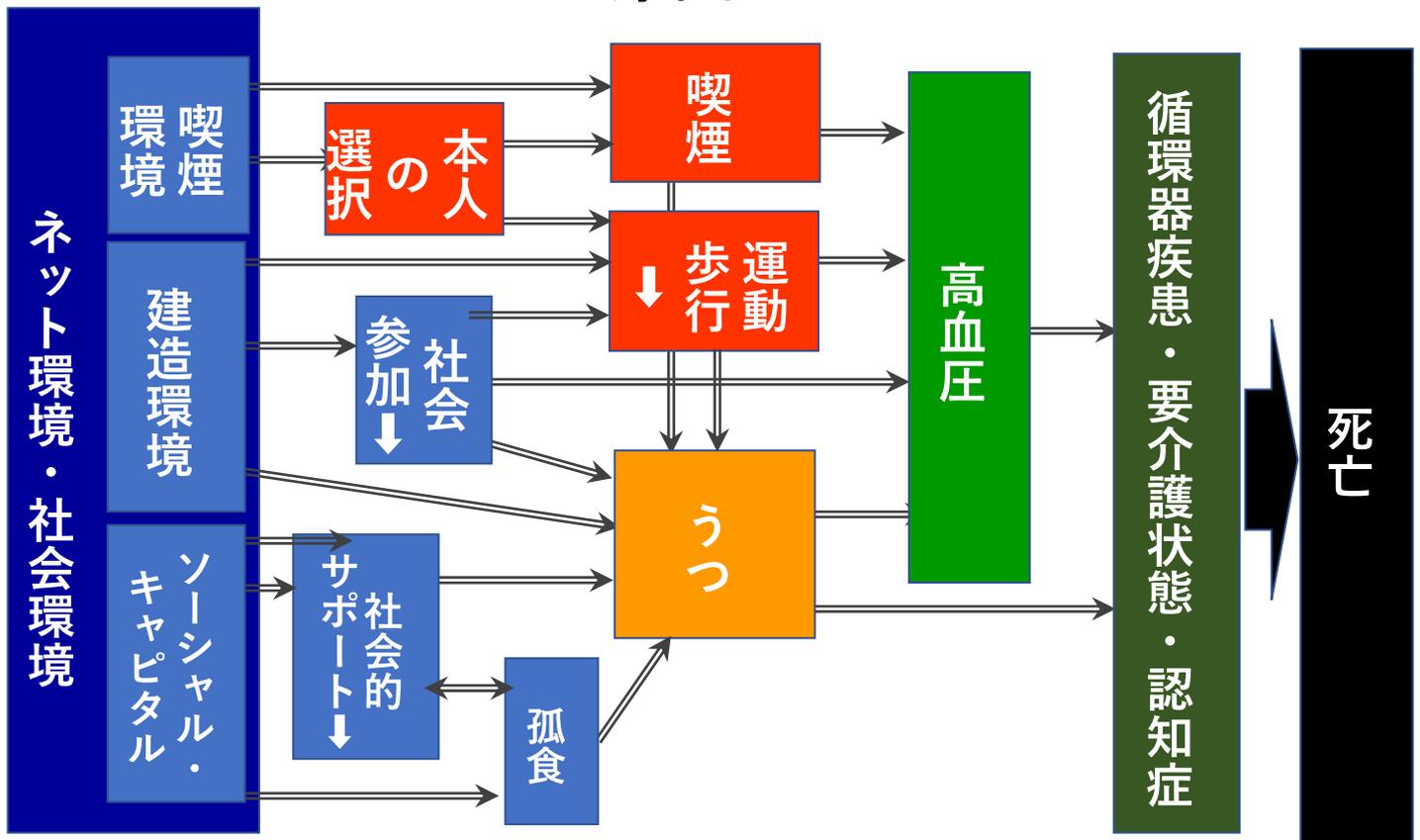
原因



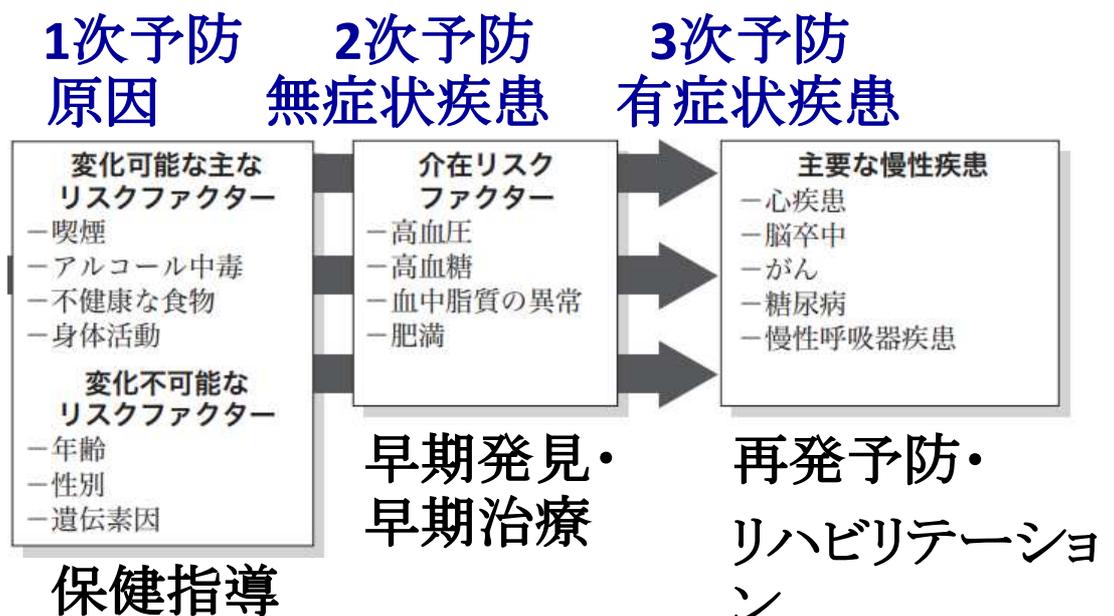
健康の決定要因

原因の原因

原因



ゼロ次予防から3次予防まで

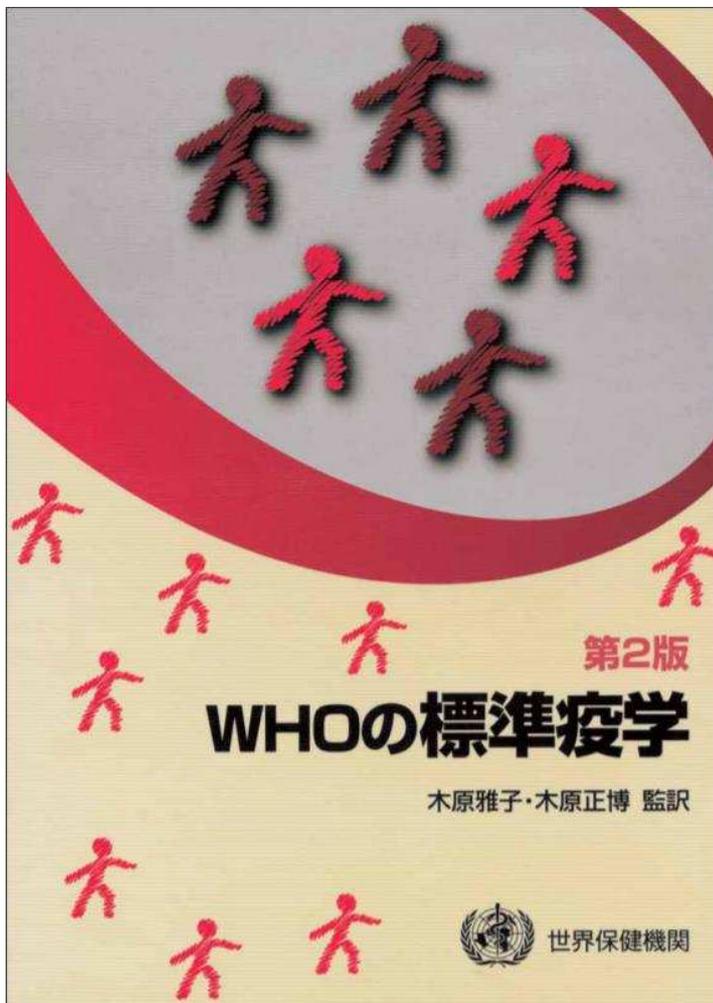


Bonita, Ruth, Beaglehole, Robert, Kjellström, Tord & World Health Organization. (2006)

Basic epidemiology, 2nd ed. World Health Organization. p123

図 6.4 健康の背景要因とその慢性疾患への影響に加筆

http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/43541/3/9241547073_jpn.pdf



ゼロ次予防

primordial prevention

原因をもたらす背景要因へのアプローチ

Underlying conditions leading to causation

Basic epidemiology. 1st edition, p86, 1993
<https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/36838/9241544465.pdf?sequence=1&isAllowed=y>

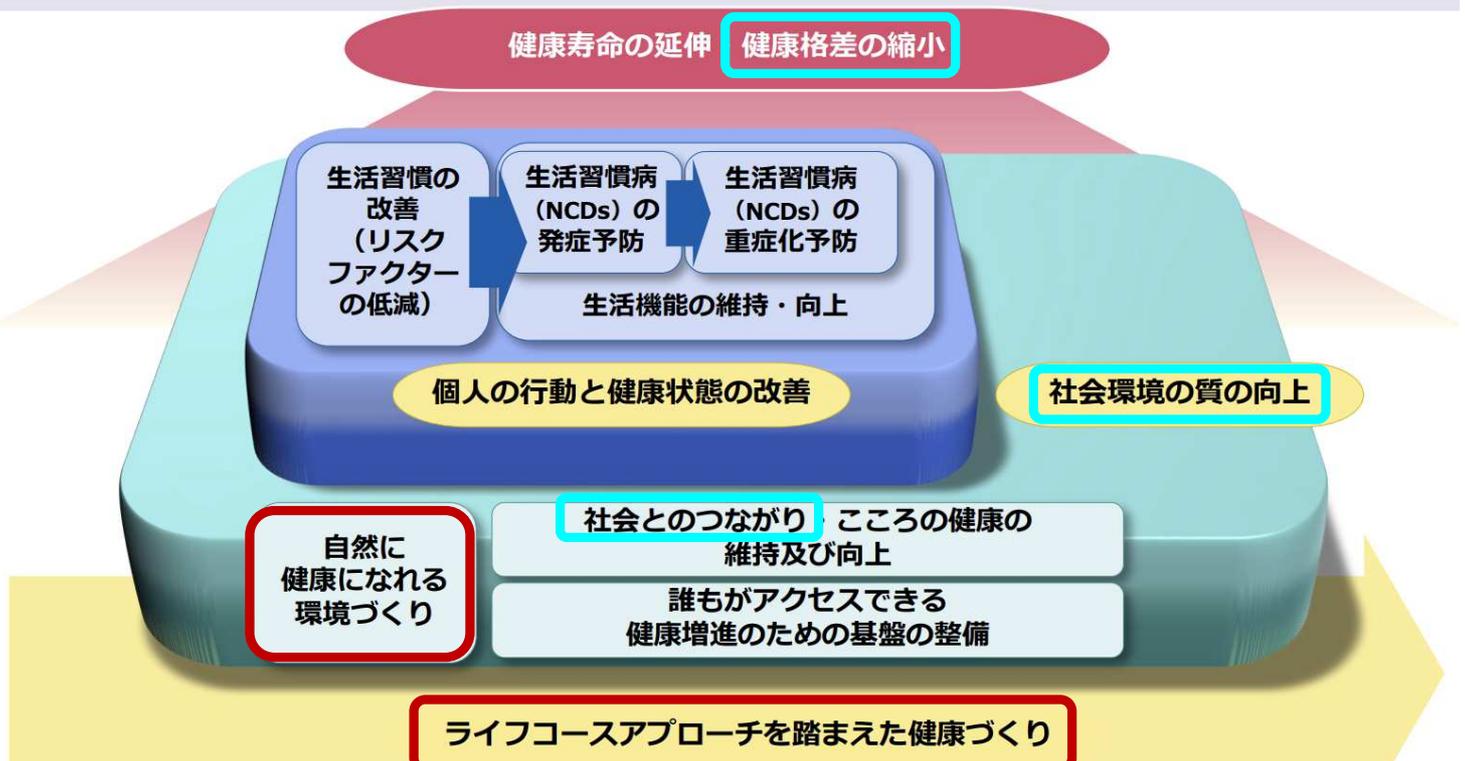
原因となる社会経済的, 環境的, 行動的条件の発生を防ぐための対策を取る

R. Bonita, R. Beaglehole, T. Kjellström:
 Basic epidemiology. 2nd edition.
 ISBN 92 4 154707 3 (NLM classification: WA 105)
 © World Health Organization 2006
 三煌社, p124

http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/43541/3/9241547073_jpn.pdf

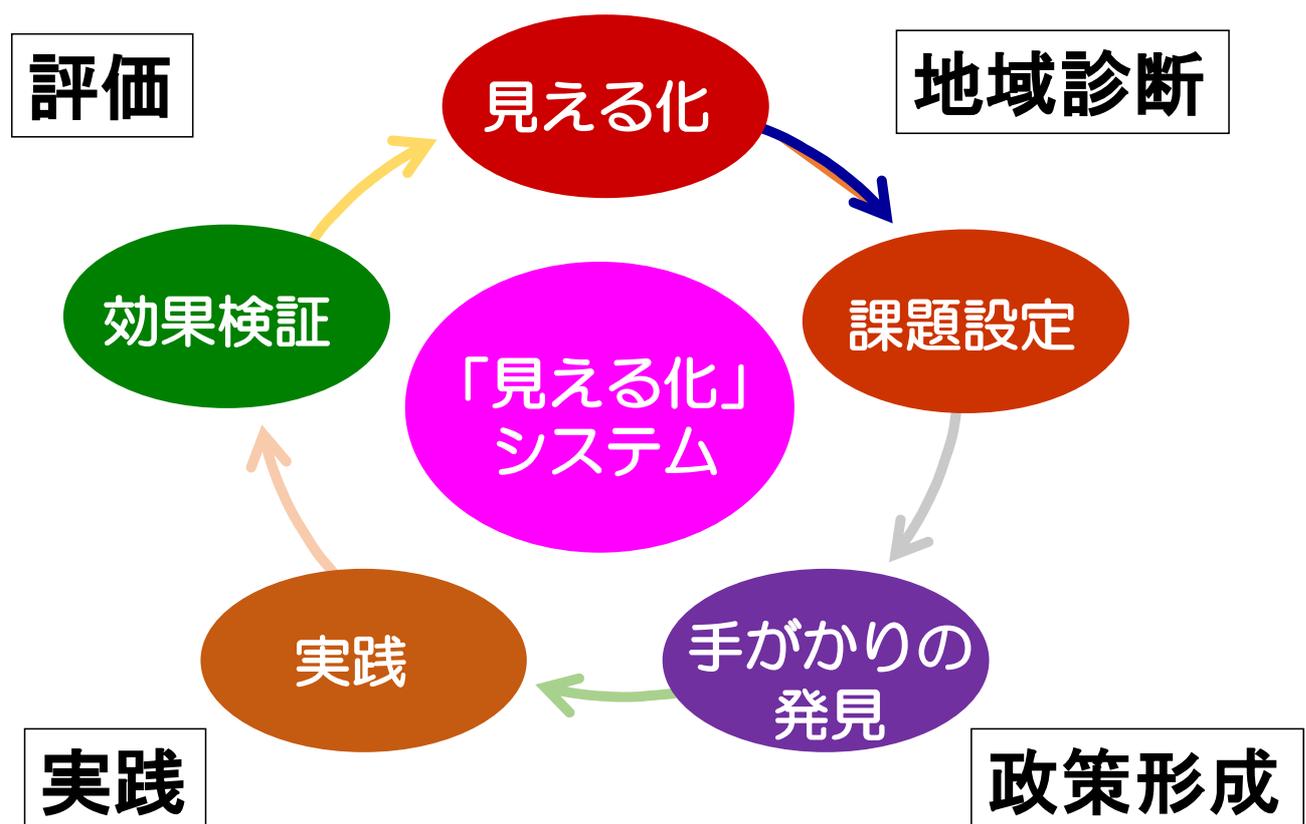
健康日本21（第三次）の概念図

全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現のために、以下に示す方向性で健康づくりを進める



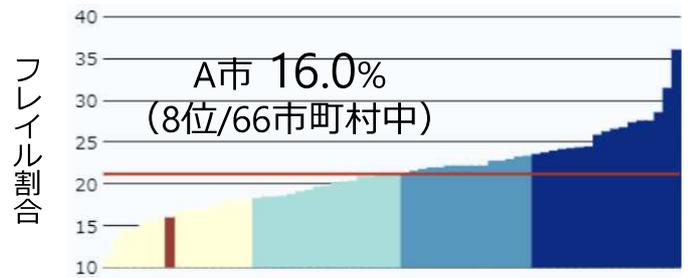
- 1.なぜ地域・社会環境重視に？
- 2.地域診断からの健康まちづくり
- 3.官学民連携によるまちづくり

「見える化」で マネジメントサイクルを回す



“見える化”して比較する

A市は66市町村中
フレイル割合低い（強み）
しかし…？



フレイル割合低い
Good Practiceが存在する可能性

フレイル割合高い
重点対象地域 最大 22.6%



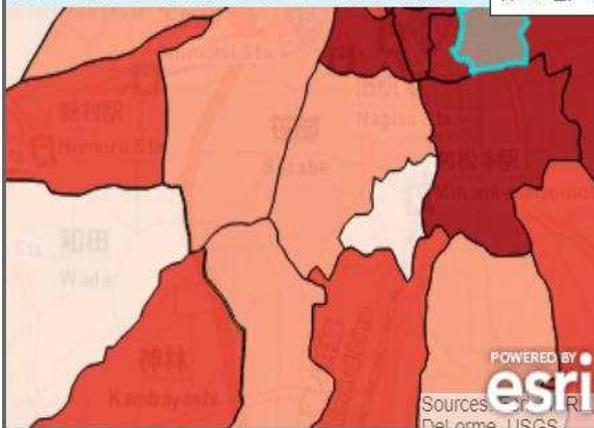
15圏域中7圏域が
A市全体よりも
フレイル割合高い

スポーツの会参加率高いのはどこ？

Good Practiceの「見える化」が可能

JAGES HEART 2016

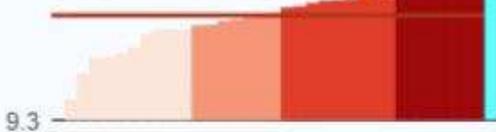
前期高齢者 | コア指標 スポーツの会参加者(月1回) 第3地区:



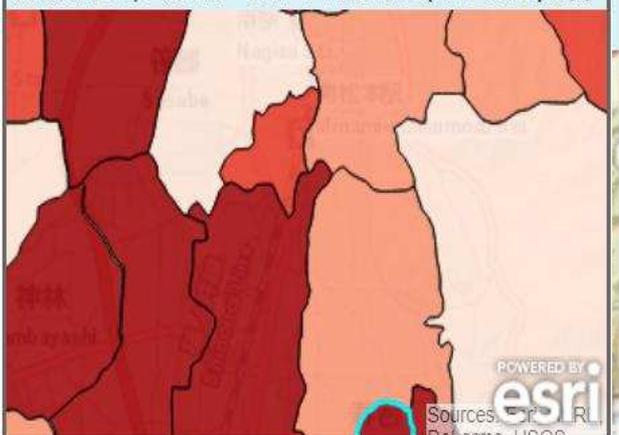
グラフ (地図表示と連動)

前期高齢者

42.6
9.3~42.6%



後期高齢者 | コア指標 スポーツの会参加者(月1回以上)割合



グラフ (地図表示と連動)

後期高齢者

100
14.3~64.1%



コメント5「『Good Practice』を普及していく方策」⇒1)「見える化」システム、
2) 市町村との共同研究会・ワークショップなどを通じた活用

見つかったのは・・・



1. 団地集会场
2. 整骨院
3. 郵便局
4. 葬儀用ホール
5. 薬局のチェーン店

ボランティアを募ってワークショップを開催

住民主体サロンの概要

つどいの場からはじまる 介護予防(=健康づくり)！ ～「みんなが主役！」が合言葉～

介護予防(=健康づくり)には様々な取り組みがあります。なかでも厚生労働省が目しているのが『地域のつどいの場に参加すること・手伝うこと』です。

地域の住民同士が、気軽集える多様な地域の交流の場「つどいの場」が重要であるといわれていますが、駅南通にも地域の皆さんによる、誰でも参加できるつどいの場があります。

まずは、駅南通で開催される地域のつどいの場を、お買い物の帰りに、散歩ついでに、家事の合間に、お気軽にのぞいてみてください。

皆様のご参加をお待ちしております。

C地区 ウォーキング

～気軽に集まって、楽しく体操～
男女問わず、自由に楽しく誰でもはじめられる体操をしてみませんか、一緒に楽しい時間を作りましょう！

日時：毎月 第1・3 金曜日 13時30分～14時30分

場所：キャナルタウン7号棟 集会所

参加費：無料

持ち物：水分(お茶や水)・上履き・汗拭きタオル

内容：上記の時間、体操やおしゃべりをする会です。間違えても楽しく笑いながらできます。講師のいないみんなが主役の体操の会です。

※ 皆が集まって体操を行う体操グループ活動です。参加にあたっての事故・トラブル等は各自の責任となります。

C地区 喫茶会

みんなで集まって、楽しくお話ししたりお茶を飲んだり歌ったりしませんか？2か月に1回は、お楽しみのイベントを行っています。みなさんのお声で楽しいカフェにしましょう。

日時：毎月 第4 水曜日 13時30分～15時00分
(詳しくは、キャナルタウン住宅掲示板ポスターをご確認ください。)

場所：キャナルタウン2号棟 集会所

参加費：1回 50円

内容：お茶やコーヒーを飲みながら、みんなで楽しいひと時を。楽しくおしゃべりしたり、歌を歌ったり、2か月に1回は、役立つお話や物づくりなどイベントを行っています。ぜひご参加ください。

C地区趣味の会

～気軽に集まって、楽しいひと時を～男女問わず、自由にお茶を飲みながら、参加される皆さんと一緒に楽しい時間を作りましょう！将棋盤やおセロ、刺しゅうや編み物などの持ち込みもできます。

日時：毎月 第2 水曜日 13時30分～15時00分
(詳しくは、キャナルタウン住宅掲示板ポスターをご確認ください。)

場所：キャナルタウン2号棟 集会所

参加費：1回 50円

内容：上記の時間、自由にお茶を飲んだり、楽しい遊びを行います。家で眠っている将棋盤やカルタなど、自由にご持参ください。

～ビックリ！予想以上の波及力～

集合住宅があり高齢者が多く、住民同士の繋がりが希薄で集える場が少ない地域。

「地域の高齢者の1割が動くと、地域に波及効果がある」と関係者や地域住民と共有
C地区でいうと100人程度を目標に

参加者の要望で健診まで実現



〈歩こう会〉



〈新たな喫茶〉

X線技師

つどいの場の
間で行き来が
始まった

既存の喫茶に合流し、
次回の打ち合わせ

人数が伸び悩んでいた既存の
喫茶が活性化

喫茶がきっかけで、健康意識
が高まり、参加者から保健セン
ターに要望が出され
「COPD健康相談・胸部X線
健診」が実現

決めたのは
〈きっちり
決めないこと〉



ふれあい喫茶スタンプラリー

キーワード

- 高齢者が毎日外出するきっかけを作りたい
- 居場所の次の担い手を発掘したい
- 家の近くだけでなく、他圏域へも出向いてほしい

ふれあい喫茶
スタンプラリー

実施中!

10/1 ~ 10/31 まで

スタンプを4つ集めて
粗品をゲットしよう!



<p>①ふれあい広場 おりーぶ</p> <p>日にも 10月11日・22日(火)</p> <p>時間 11:00~13:00</p> <p>金額 200円</p> <p>場所 カリック兵庫教会内 (兵庫区榎本通4丁目4-4)</p>	<p>②喫茶よりみち</p> <p>日にも 10月4日・11日・18日(金)</p> <p>時間 11:00~16:00</p> <p>金額 100~200円</p> <p>場所 そんぼの家S神戸上沢 (兵庫区上沢通8丁目2-6)</p>	<p>③おしゃべりカフェ ちゃぷりん</p> <p>日にも 10月5日・19日(土)</p> <p>時間 14:00~18:00</p> <p>金額 450円</p> <p>場所 喫茶ちゃぷりん (兵庫区下三桑町7-1)</p>	<p>④ふれあい交差点</p> <p>日にも 10月4日・20日(日)</p> <p>時間 8:00~10:00</p> <p>金額 100円</p> <p>場所 フレール兵庫区岡崎住宅協会 (兵庫区岡崎通1-27)</p>	<p>⑤キャナル Cafe</p> <p>日にも 10月9日・22日(火)</p> <p>時間 9:30~11:30</p> <p>金額 100円(珈琲のみ)</p> <p>場所 キャナルタウン中央6階真会堂 (兵庫区新通6丁目1-2)</p>
<p>⑥潮水ふれあい喫茶</p> <p>日にも 10月12日(土)</p> <p>時間 9:00~10:30</p> <p>金額 200円</p> <p>場所 潮水地域福祉センター (兵庫区潮水町2丁目1-2)</p>	<p>⑦ふれあい喫茶 夢野</p> <p>日にも 10月12日(土)</p> <p>時間 13:30~15:30</p> <p>金額 200円</p> <p>場所 夢野地区地域福祉センター (兵庫区山通1丁目6-6)</p>	<p>⑧和田輝ふれあい喫茶</p> <p>日にも 10月12日(土)</p> <p>時間 11:00~なくなり次第終了</p> <p>金額 250円</p> <p>場所 和田輝地域福祉センター (兵庫区山通1丁目1-1)</p>	<p>⑨ふれあい喫茶サポテン</p> <p>日にも 10月13日(日)</p> <p>時間 8:00~10:00</p> <p>金額 100~200円</p> <p>場所 フレール兵庫 (兵庫区)</p>	<p>⑩ひよどりふれあい喫茶</p> <p>日にも 10月13日(日)</p> <p>時間 9:00~11:00</p> <p>金額 約200円</p>
<p>⑪西橋ふれあい喫茶</p> <p>日にも 10月13日(日)</p> <p>時間 11:00~14:00</p> <p>金額 200円</p> <p>場所 西橋自治会館 (兵庫区西橋通1丁目9-11)</p>	<p>⑫兵庫大開ふれあい喫茶</p> <p>日にも 10月13日(日)</p> <p>時間 9:00~12:00</p> <p>金額 150円(単品50円)</p> <p>場所 兵庫大開地域福祉センター1階 (兵庫区水沢町4丁目4-28)</p>	<p>⑬明鏡ふれあい喫茶</p> <p>日にも 10月13日(日)</p> <p>時間 10:00~12:30</p> <p>金額 200円</p> <p>場所 明鏡地域福祉センター (兵庫区東佐野通4丁目1-43)</p>	<p>⑭まのふれあい喫茶</p> <p>日にも 10月14日</p> <p>時間 11:00~13:00</p> <p>金額 200円</p> <p>場所 龍野地域福祉センター (兵庫区)</p>	
<p>⑯ふれあい喫茶なごみ</p> <p>日にも 10月15日(火)</p> <p>時間 13:30~15:00</p> <p>金額 150円</p> <p>場所 神戸市宮浜崎通住宅協会 (兵庫区浜崎通2-22)</p>	<p>⑰きずな会</p> <p>日にも 10月17日(木)</p> <p>時間 13:00~15:00</p> <p>金額 100円</p> <p>場所 マルシェ市場内「まるしん75分」 (兵庫区東山町4丁目3)</p>	<p>⑱漢山ふれあい喫茶</p> <p>日にも 10月18日(土)</p> <p>時間 8:30~11:00</p> <p>金額 200円</p> <p>場所 漢山地域福祉センター1階 (兵庫区大開町2丁目2-8)</p>	<p>⑲瀬川町東部 スモモ</p> <p>日にも 10月20日</p> <p>時間 8:00~11:30</p> <p>金額 200円</p> <p>場所 瀬川町10丁目</p>	
<p>⑳吉田町ふれあい喫茶</p> <p>日にも 10月22日(火)</p> <p>時間 11:00~14:00</p> <p>金額 200円</p> <p>場所 吉田町自治会館 (兵庫区吉田町2丁目2-18)</p>	<p>㉑キャナル元気のいきいき会</p> <p>日にも 10月23日(水)</p> <p>時間 13:30~15:00</p> <p>金額 50円</p> <p>場所 キャナルタウンクエスト1号棟真会堂 (兵庫区新通6丁目2-2)</p>	<p>㉒平野ふれあい喫茶</p> <p>日にも 10月28日(土)</p> <p>時間 12:00~14:30</p> <p>金額 200円</p> <p>場所 平野会館1階 (兵庫区神田町11-10)</p>	<p>㉓ふれあい喫茶</p> <p>日にも 10月27日</p> <p>時間 9:00~11:30</p> <p>金額 200円</p> <p>場所 フレール兵庫 (兵庫区)</p>	

スタンプラリー対象喫茶は
裏面に掲載してある25カ所です。

25カ所のうち4カ所を回り
スタンプを集めてください。

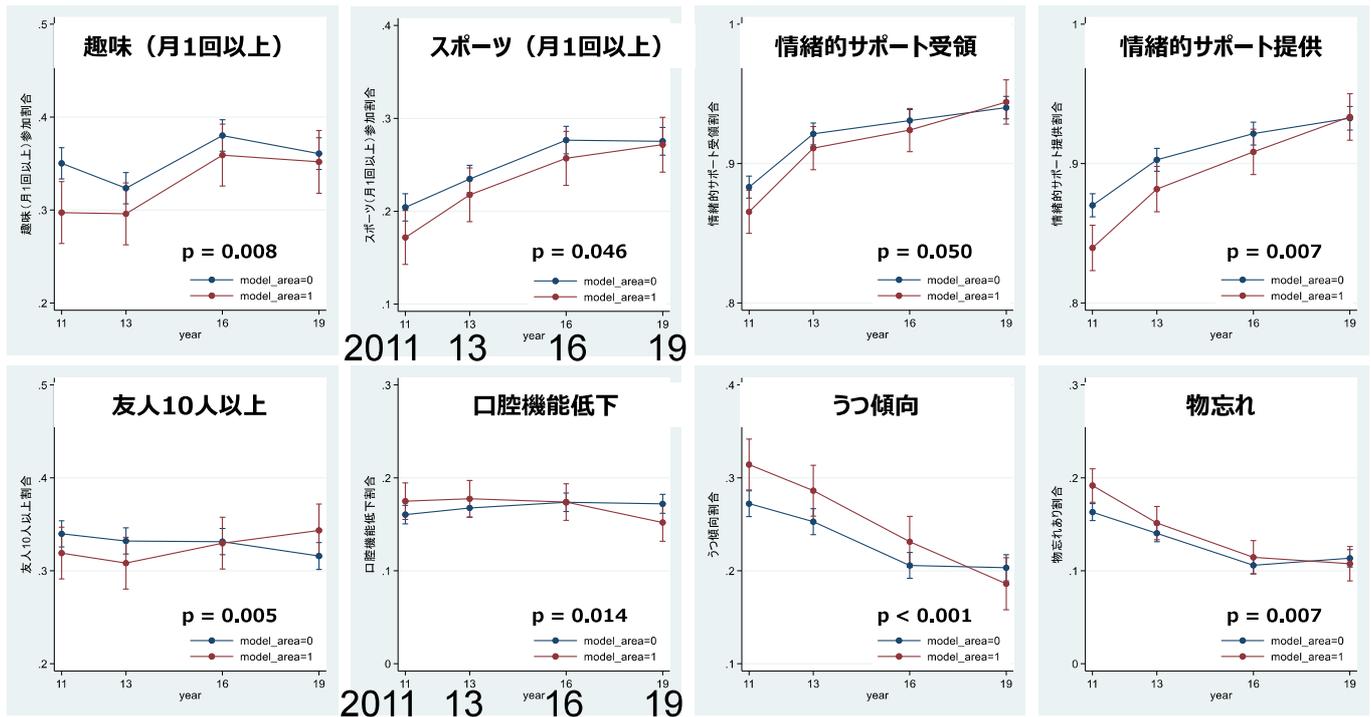
スタンプが集まった方は、この紙を持って兵庫区
社会福祉協議会、又はお近くのあんしんすこやか
センターまでお越しください。
粗品をお渡しします。



8年かけて社会参加が増え健康指標も改善

辻大士, 高木大資, 近藤尚己, 丸山佳子, 井手一茂, LINGLING, 王鶴群, 近藤克則: 通いの場づくりによる介護予防は地域間の健康格差を是正するか?: 8年間のエコロジカル研究, 日本公衆衛生雑誌 69 (5), 383-393, 2022, DOI <https://doi.org/10.11236/jph.21-120>

赤: モデル地区 (n = 16)
青: 非モデル地区 (n = 62)



非モデル地区に比べ、不良であったモデル地区で、社会参加や支え合い、友人は増え、うつや物忘れは減少

東京新聞 TOKYO Web

介護予防への効果は 松戸市と千葉大が共同研究 さまざまな住民活動

ツイート 0 シェア 76 G+ 0

2016年11月5日

運動や合奏、自治会などさまざまな住民の活動が、介護予防にどれだけの効果があるのかを評価することで、実効性のある「介護予防標準モデル」を開発する共同研究を、松戸市と千葉大予防医学センターが始めた。

介護予防を主な目的にした活動も評価対象で、市内の千人規模の元気な高齢者に協力してもらい、三年ほど追跡調査。全国の都市部でも実践できる標準モデルづくりを目指す。

共同研究を担う予防医学センターの近藤克則教授によると、介護予防の取り組みを、都市部で長期的に調査・評価し、科学的根拠に基づいて実践する取り組みは珍しい。

市は、住民の活動が介護予防に与える効果を確認できれば、介護費用の抑制につながり、介護人材不足にも対応できるので、と期待する。センターは、市民の協力を得ることで幅広いデータを得られ、多角的に研究できる。



介護予防の共同研究の協定を交わした本郷谷健次市長 (左) と近藤克則教授 = 松戸市で

共同研究の期間は当面二〇二〇年三月まで。今月十五日に市内の六十五歳以上の八千人に協力を呼び掛ける書面を郵送。来年二月に説明会を開く。四月から本格的に実施する。

<http://www.tokyonp.co.jp/article/chiba/list/201611/CK2016110502000171.html>

閉じこもり高齢者が多いまち 高低差20mの住宅地、駅まで20分弱



運転手はどうする？

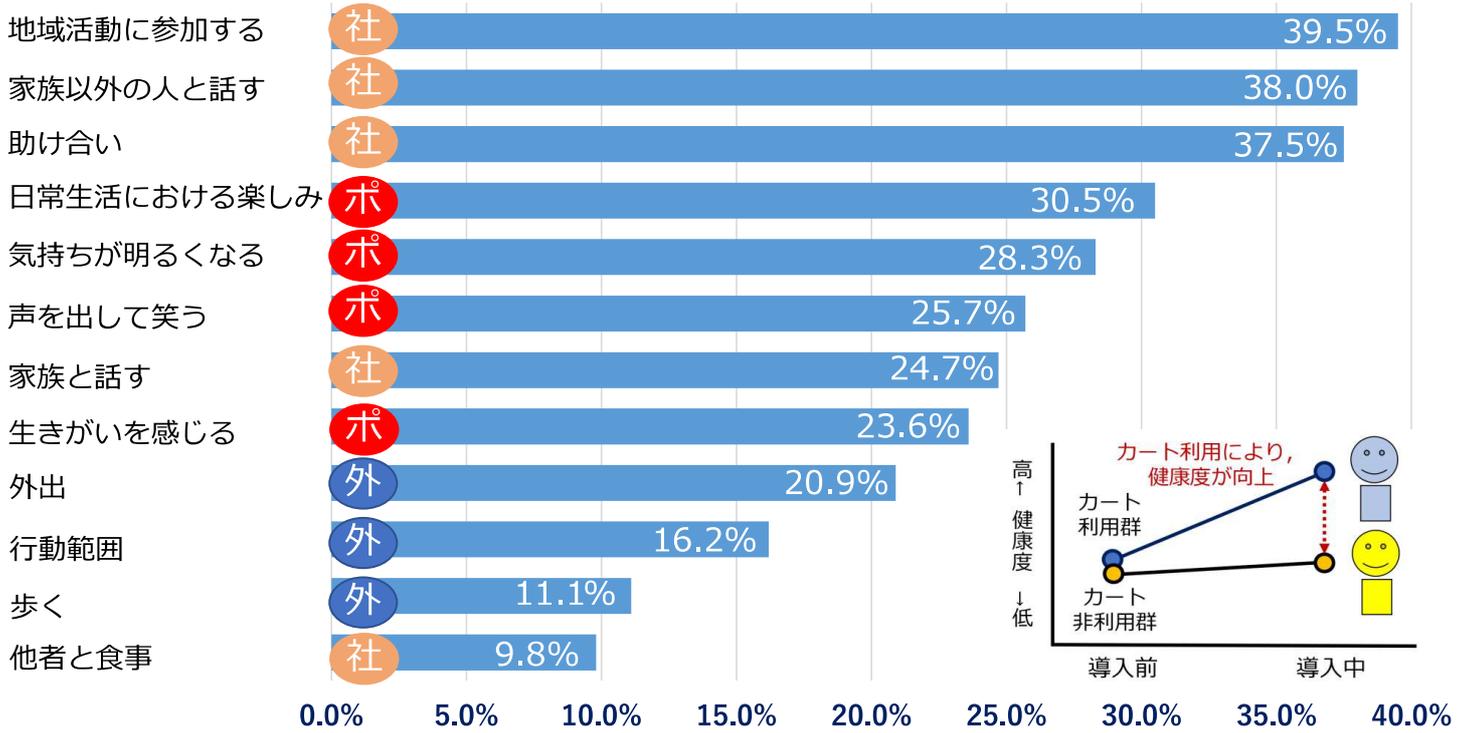


- ことぶき会の会員に声をかけると・・・
- 30人が協力



グリスロ利用群 VS 非利用群の差

外出・社会的行動・ポジティブ心理機会が1-4割増



令和4年版 高齢社会白書

p55

TOPICS

グリーンスローモビリティの取組事例①

～高齢者の社会参加による介護予防、高齢者の活躍する機会の創出～

事業の目的・概要

千葉県松戸市では、地域内の地形の高低差等の特性や公共交通の不足により、高齢者は日常的な買物、通院を含め社会参加するための移動に苦慮している。また、外出等の社会参加が減少するとフレイル（虚弱）が懸念され、高齢者はこれまで培ってきた知識・技術等があっても、それを活かす機会と場を失ってしまう。

そこで、高齢者の社会参加を促進するとともに、地域の活性化、カーボンニュートラルの実現、SDGsの達成に向け、公共交通の狭間に用いる地域内の小さな移動方法として、高齢者でも安心して利用しやすいグリーンスローモビリティ（低速の電気自動車を利用した地域による移動サービス）を活用することとした。

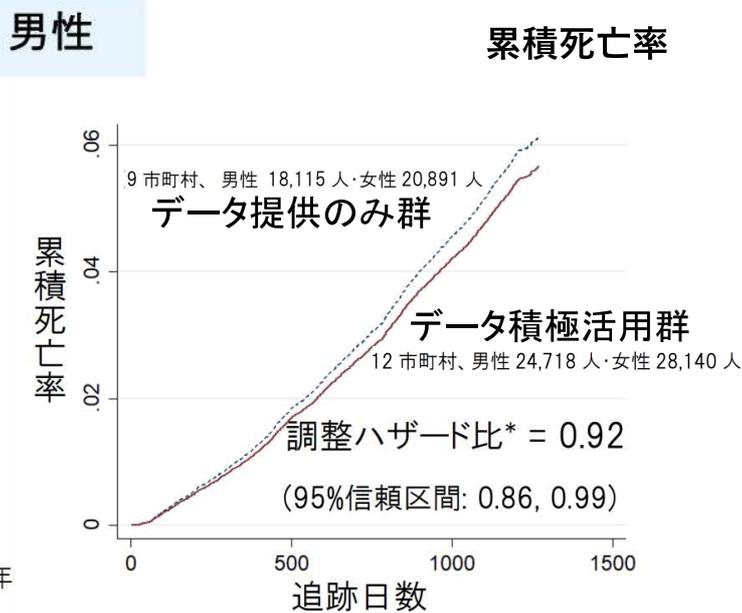
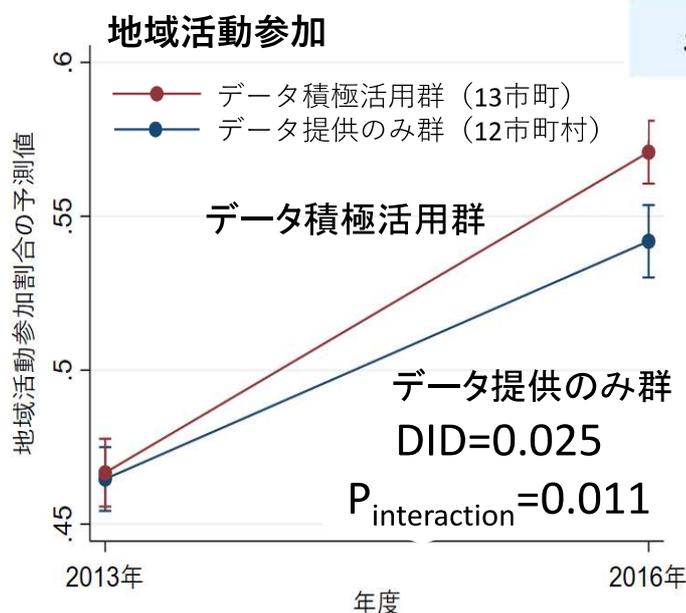


【グリーンスローモビリティの運行の様子】

データ積極的活用市町村に住む高齢男性で 地域活動参加は増加・死亡は減少

(趣味の会・教養サークル・町内会)

21-25自治体・約5~9万人の3年間の準実験研究



Haseda M, Takagi D, Kondo K, Kondo N. Effectiveness of community organizing interventions on social activities among older residents in Japan: A JAGES quasi-experimental study. *Soc Sci Med* 2019; 240: 112527.

Haseda M, Takagi D, Stickley A, Kondo K, & Kondo N. (2022). Effectiveness of a community organizing intervention on mortality and its equity among older residents in Japan: A JAGES quasiexperimental study. *Health & place*, 74, 102764.



近藤克則 編 住民主体の楽しい 「通いの場」づくり

「地域づくりによる介護予防」進め方ガイド
日本看護協会出版会 2019

日本老年学的
評価研究
(JAGES)と
全国の市町村
職員・住民のノ
ウハウと知見を
凝縮!



好評につき
第2弾!

近藤克則 編
ポストコロナ時代の
「通いの場」
日本看護協会出版会
2022

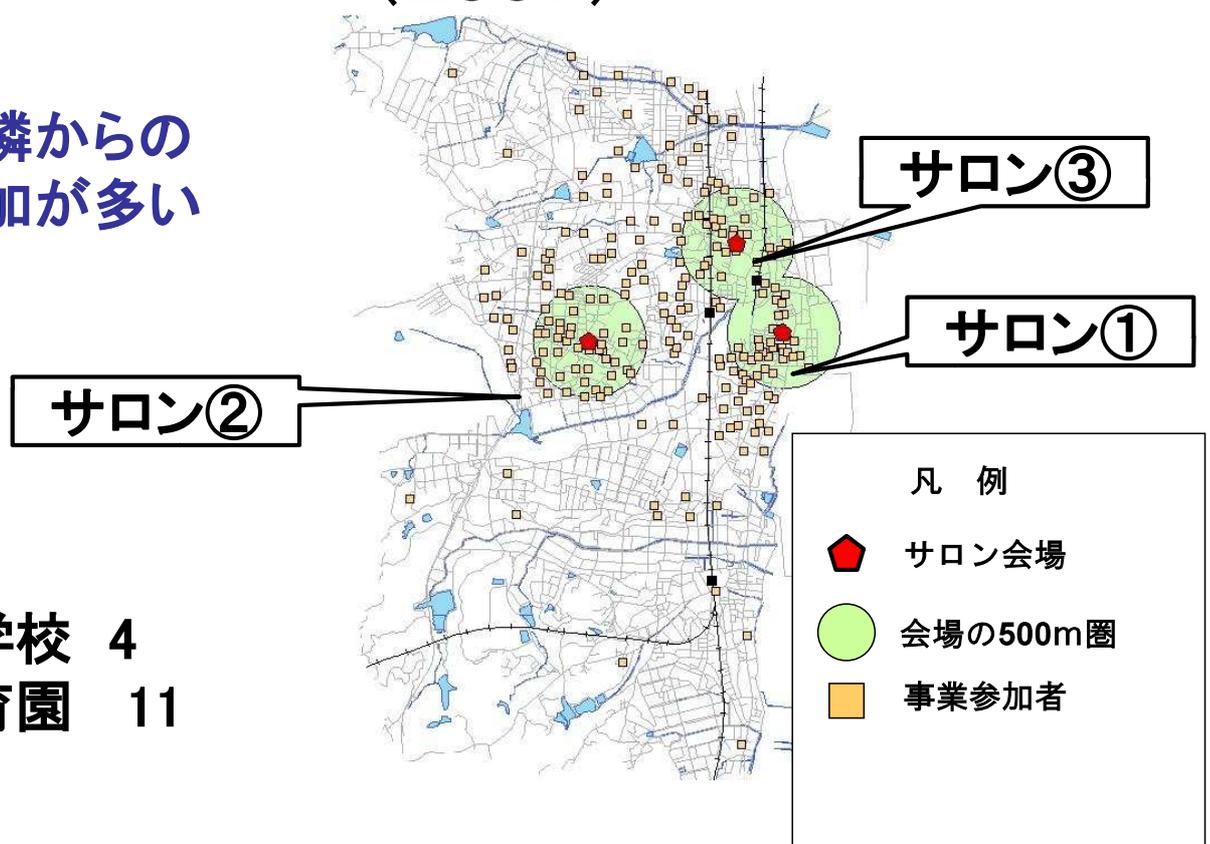


- 1.なぜ地域・社会環境重視に？
- 2.地域診断からの健康まちづくり
- 3.官学民連携によるまちづくり

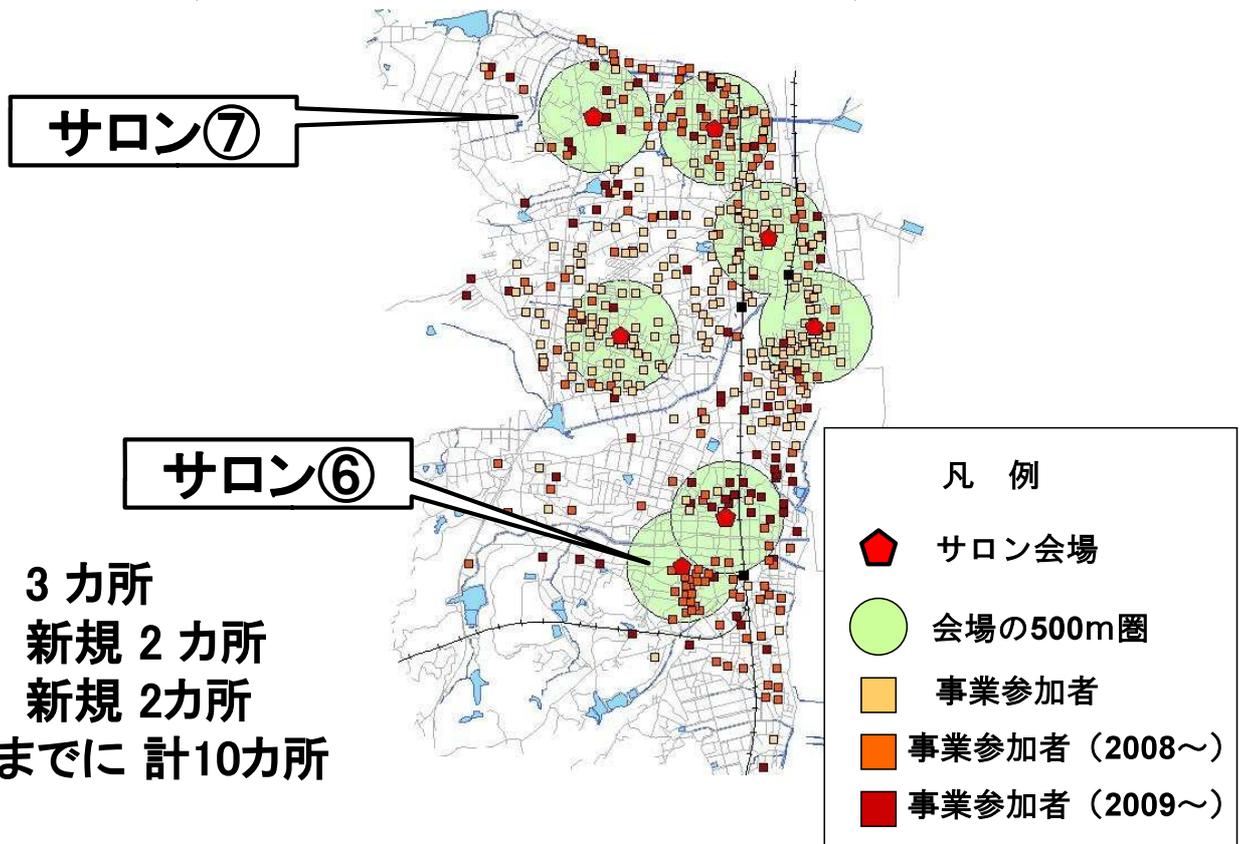
サロン開催場所と参加者の分布 (2007)

近隣からの
参加が多い

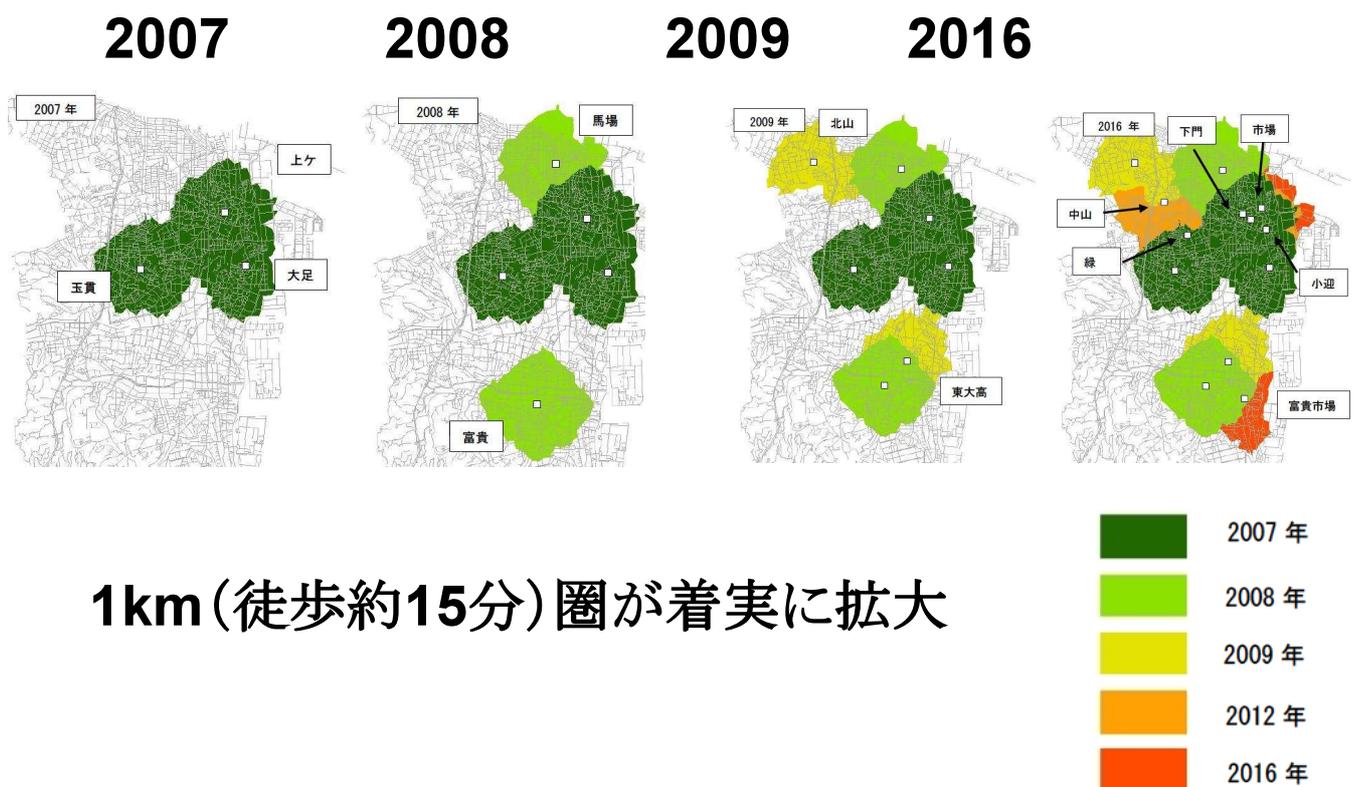
小学校 4
保育園 11



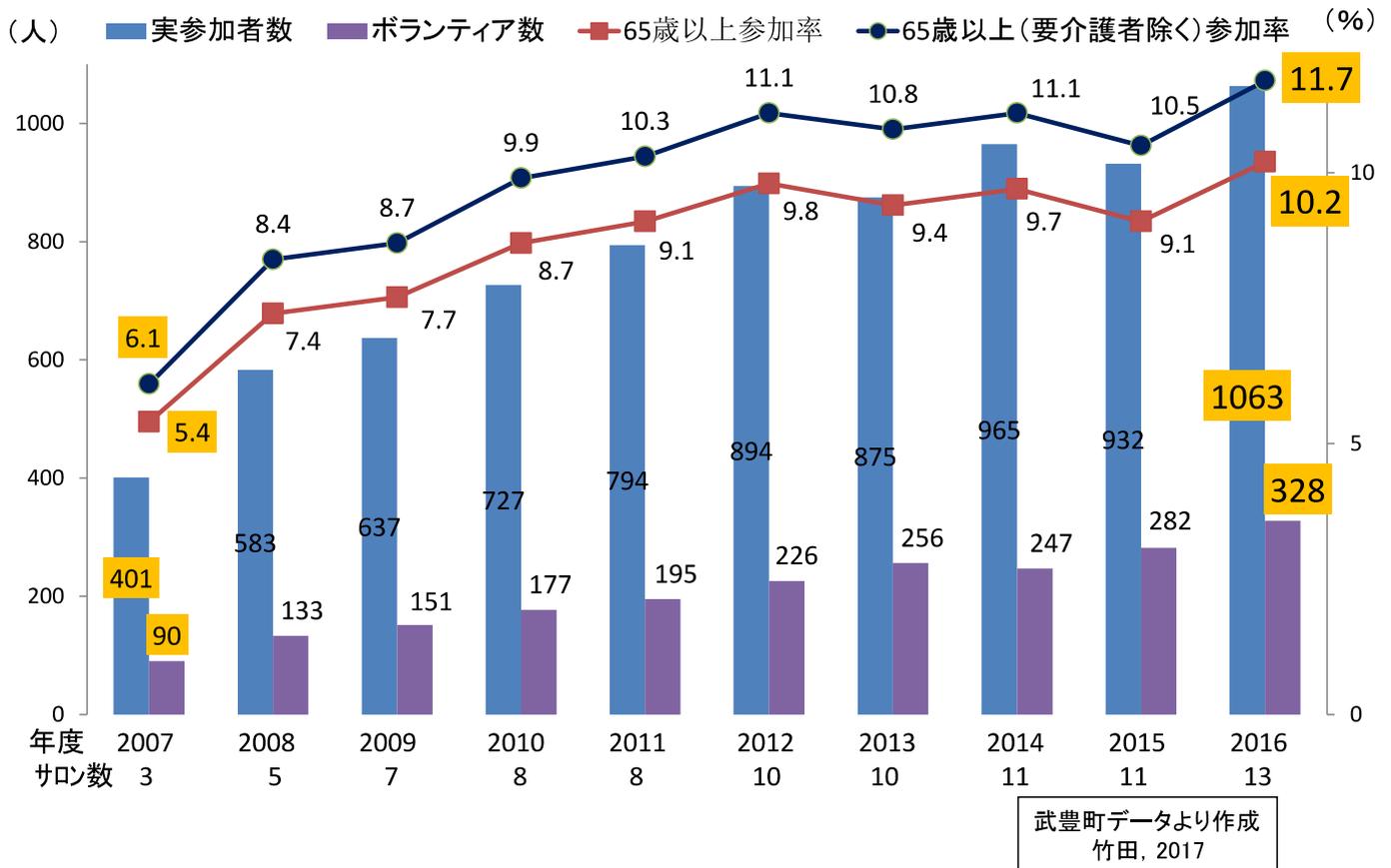
サロン開催場所と参加者の分布 (2007+2008+2009)



サロンからの道路距離1km圏の推移

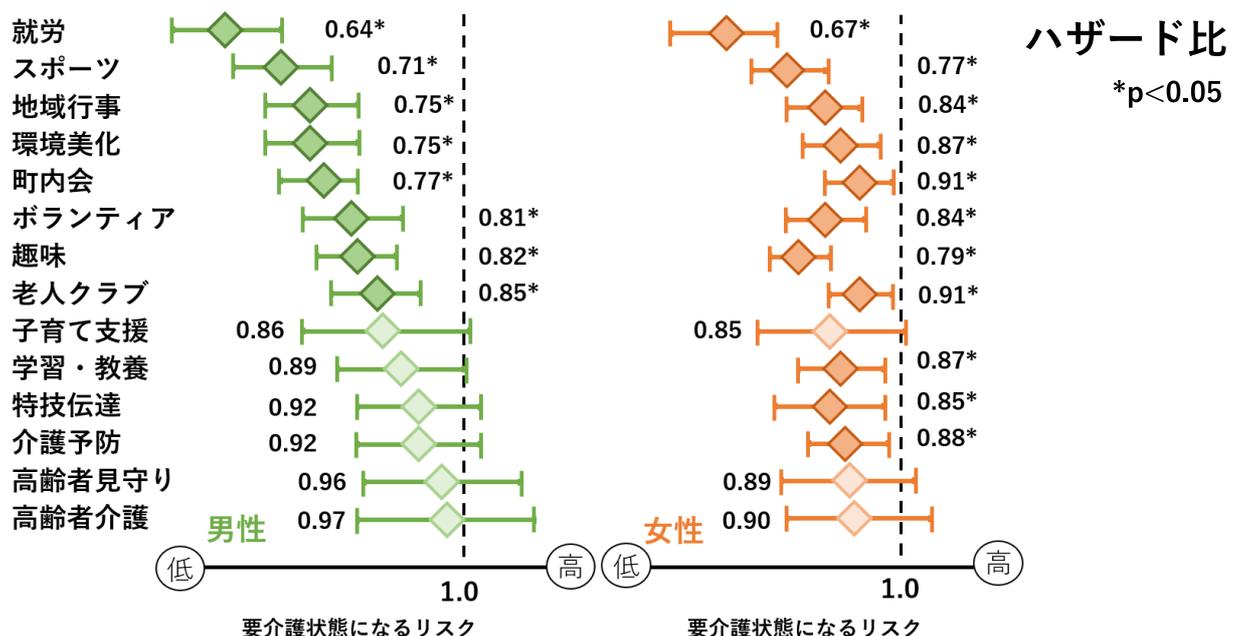


サロン実参加者数/ボランティア数/ 参加率の推移



参加している組織の種類と要介護リスク

対象 JAGES2013回答者を約3年追跡：高齢者90,889名
男性42,659名（平均年齢73.5±6.0歳），女性48,230名（平均年齢73.8±6.1歳）



各組織への不参加を基準(1.0)とし、要介護リスク(%)を数値化

年齢, 等価所得, 教育歴, 婚姻状況, 健康状態, 喫煙, 飲酒, うつ, IADL, 可住地人口密度を調整済み
東馬場要, 井手一茂, 渡邊良太, 飯塚玄明, 近藤克則. 高齢者の社会参加の種類・数と要介護認定発生の関連—
JAGES2013-2016 縦断研究. 総合リハビリテーション 49(9). 897-904, 2021

狭義の通いの場

● 介護予防に資する住民運営の通いの場

- ① 体操や趣味活動等を行い、介護予防に資すると市町村が判断
- ② 通いの場の運営主体は、住民
- ③ 市町村が財政的支援を行っているものに限らない
- ④ 月1回以上の活動実績があること

(介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況に関する調査における定義)

広義の通いの場

● 行政が介護保険による財政的支援を行っているものに限らない取組

- ・ スポーツや生涯学習に関する取組
- ・ 公園や農園を活用した取組
- ・ 民間企業・団体や社会福祉協議会など多様な主体と連携した取組
- ・ 医療機関や介護保険施設等が自主的に行う取組
- ・ 有償ボランティアなどいわゆる就労に類する取組
- ・ 高齢者だけでなく、多世代が交流する取組
- ・ 防災や交通安全、地域の見回り等の取組との連携

(一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会 取りまとめでの定義)

井手一茂, 渡邊良太, 近藤克則: 介護予防に今こそ必要なリハビリテーション. 4. 通いの場づくり-. 日本老年学的評価研究機構 (JAGES)44
の知見から. 総合リハ 49: 1163-1168, 2021

第2回 一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会(令和元年7月3日)
愛知県豊明市 資料

地域のあらゆる資源を活用した「通いの場」



無料送迎バスで天然温泉が通いの場
楽の湯みどり店(株)ナカシロ)



高齢者が毎日通う喫茶店での見守り
市内70店以上の喫茶店



お寺のお堂で、男性が多く参加する健康麻雀
曹源寺



自動車販売店の商談スペースで毎日体操
名古屋トヨペット(株)豊明店

一般介護予防は、通いの場(社会参加型)へシフト

専門職などが主導した介護予防教室

従前の介護予防(ハイリスクアプローチ)

行政が**提供者**・住民が**受給者**

狭義の通いの場

平成26年
地域づくりによる
介護予防

これからの介護予防(ポピュレーションアプローチ)

住民が**運営者**・行政が**支援者**

広義の通いの場

令和元年
厚生労働省一般介護
予防検討会指針

通いの場の**多様性**・**機能強化**
PDCAに沿った事業展開

PDCAサイクルに沿った「通いの場」の取組を推進するための手引き：P6 図1 (一部加筆)

46

厚生労働省告示 (2月案)

国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針

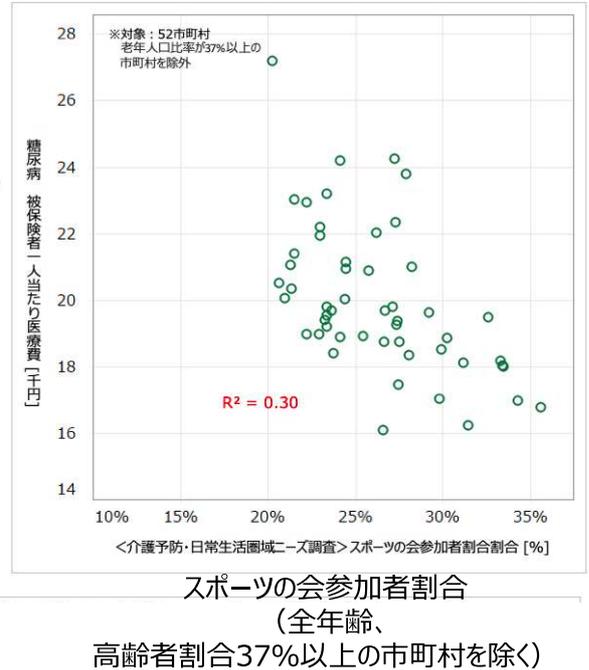
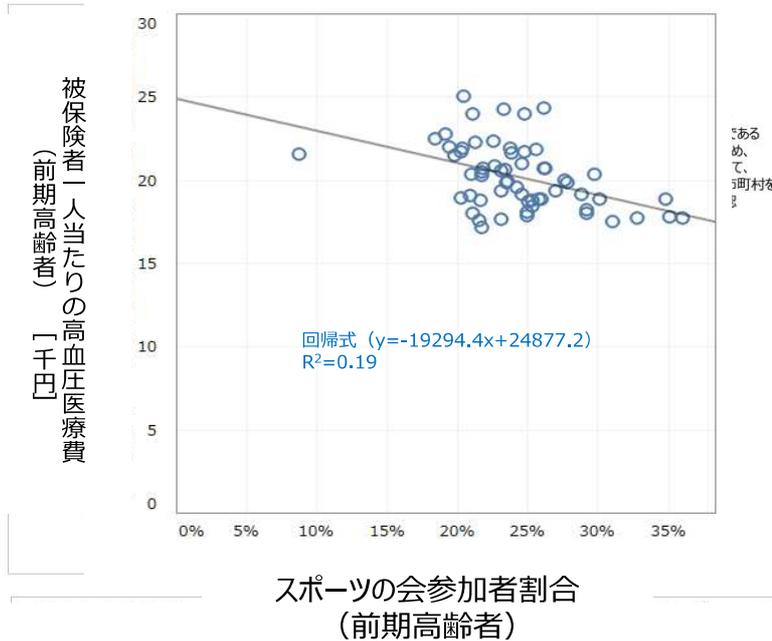
第七 その他国民の健康の増進の推進に関する重要事項

- 一 多様な主体による連携及び協力
 - 誰一人取り残さない健康づくりを効果的に展開するためには、行政だけでなく、地域の関係者や民間部門の協力が必要である。・・・中略・・・大学等の研究機関、企業、教育機関、NPO、NGO、住民組織等の関係者が連携し、効果的な取組を行うことが望ましい。・・・略
- 二 関係する行政分野との連携
 - 健康増進の取組を推進するには、国と地方公共団体のいずれにおいても、様々な分野との連携が必要である。医療、食育、産業保健、母子保健、生活保護、生活困窮者自立支援、精神保健、介護保険、医療保険等の取組に加え、**教育、スポーツ、農林水産、経済・産業、まちづくり、建築・住宅等**の分野における取組と積極的に連携することが必要である。

スポーツの会参加者が多い市町村で 高血圧・糖尿病の1人当たり医療費安い

高血圧

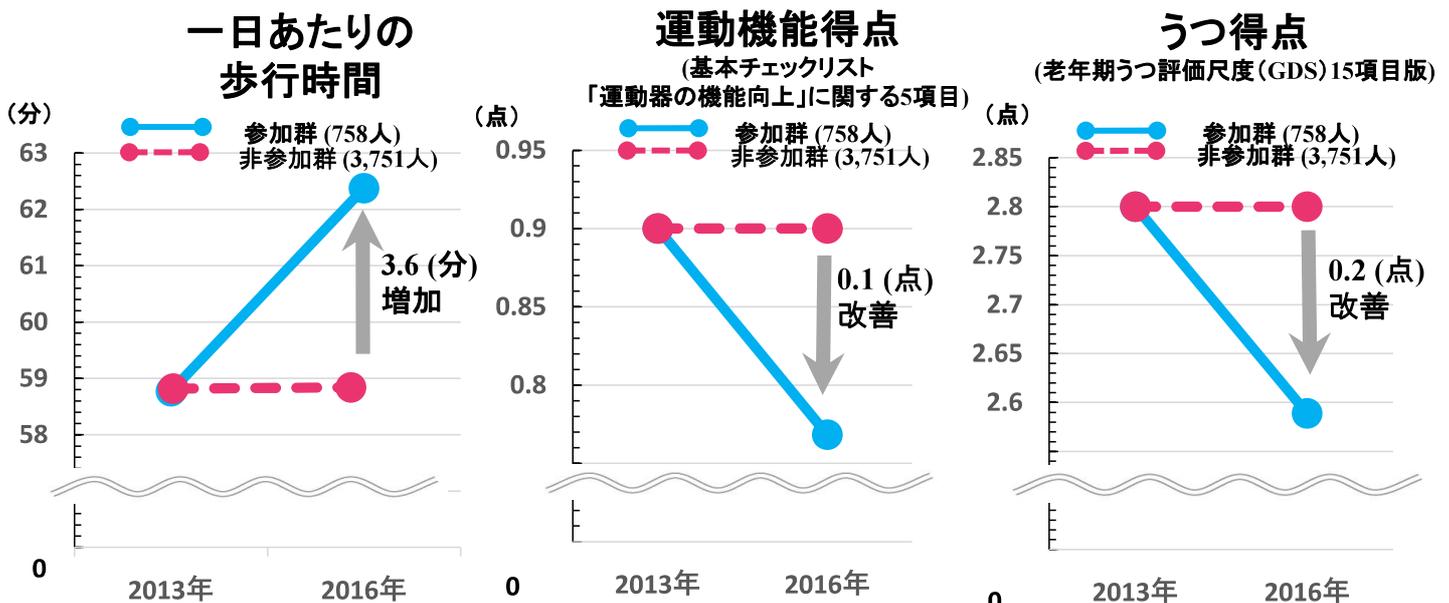
糖尿病



分析前提事項 ①令和元年度(2019年度)のKDBシステムデータを使用。②①の対象は国保・後期高齢者。③令和元年度(2019年度)の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を使用。

ウォーキングポイント事業参加の高齢者で 歩行時間1日約3.6分(約360歩)増加, 運動機能, うつが改善

360歩 × 2.36円/歩(国土交通省の年間医療費抑制推定額) × 高齢者15万人 = 年12.6億円抑制



歩行時間が正の場合は歩行時間の増加, 運動機能得点とうつ得点が負の場合は運動機能得点, うつ得点が改善
参加者と非参加者の背景要因が揃うように傾向スコアによる逆確率重み付け(IPTW)を用いて調べました。



The effects of step-count monitoring interventions on physical activity: systematic review and meta-analysis of community-based randomised controlled trials in adults

歩数モニターの身体活動量に対する効果

システマティック・レビュー & メタ・アナリシス

Follow-up Period Multivariate Meta-analysis across Time-points Mean Difference [95% CI]

≤ 4 months	1126 [787, 1466]
Approximately 6 months	1050 [602, 1498]
1 year	464 [301, 626]
2 years	121 [-64, 306]
3–4 years	434 [191, 676]

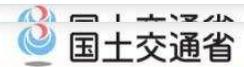
70編のRCT

6ヶ月後で1050歩/日

3–4年後で434歩/日多い

5. 医療費抑制効果の見える化(原単位の試算)

資料5



- 「歩く」ことの心身に及ぼす影響は多種多様、気分転換やストレス発散等のリラックス効果、脳や免疫機能の活性化、体脂肪低下や代謝の向上等のメタボ予防効果等の健康増進効果が存在
- 既往の研究・報告等は多くないが2つに大別、**歩行による医療費抑制効果の原単位を整理**
 - ① 特定の集団の経年的な調査から医療費抑制効果を把握 : 0.045~0.061円/歩/日
 - ② 特定の疾病の発症リスクの低減効果から医療費抑制効果を把握 : 0.0015~0.0044円/歩/日
- ①の結果を一人あたり医療費の経年的な上昇傾向から補正すると : **0.065~0.072円/歩/日**
 1日+1,500歩で年間約3万5千円の医療費抑制効果(一人あたり年間医療費約40万7千円※1)
 これらの原単位を活用して医療費抑制効果の見える化することも考えられる

■ 特定の集団の経年的な調査による歩行の医療費抑制効果

医療費抑制額	研究機関等※7	算出方法
0.045円/歩/日	辻一郎 他 東北大学大学院医学系研究科教授	1日10分間歩行(1,000歩)で1,341円/月の医療費抑制効果※2より試算※8
0.061円/歩/日	久野謙也 他 筑波大学大学院人間総合科学研究科教授	新潟県見附市における健康教室参加者の医療費抑制効果から算出※3
0.030円/歩/日 (入院外医療費)	駒村康平 他 慶応義塾大学経済学部教授	1日あたり歩行量(歩数)が1歩違うことにより年間の医療費(入院外医療費)11円/歩の医療費抑制効果※4より試算※8

■ 特定の疾病の発症リスクの低減効果からみた歩行の医療費抑制効果

医療費抑制額	研究機関等※6	算出方法
0.0015円/歩/日	野田光彦 他 国立国際医療研究センター病院糖尿病・代謝症候群診療部	歩行量(歩数)と糖尿病を中心とした疾患の発症リスク低下の研究論文を集め、中年期の1,000人をモデルに試算3,000歩により10年間で1,569万円の医療費抑制効果より算出※5
0.0044円/歩/日	厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会、次期国民健康づくり運動プラン策定専門委員会	1日1,500歩の増加は、NCD発症・死亡リスク約2%減少に相当すること※6から、平成25年度国民医療費(厚生労働省)よりNCD医療費を45-74歳約6兆円と仮定し試算※8

※1 厚生労働省: 医療費の地域格差(平成26年度)から40~74歳の一人あたり年間医療費を国土交通省により算出
 ※2 辻一郎: 健康長寿社会を実現する「2025年問題」と新しい公衆衛生戦略の展望, 大修館書店, pp.90-152, 2015
 ※3 久野謙也: ICTと超高齢化対応の「健康都市」Smart Wellness Cityによる健康長寿世界の実現を目指して- ICT超高齢社会構想会議第2回WG, 2013年1月24日
 ※4 隅田和人, 上村一樹, 白石憲一, 駒村康平: 健康ポイントが全国展開した時の波及効果シミュレーション, 第12回 Smart Wellness City 首長研究会, 2015年7月21日

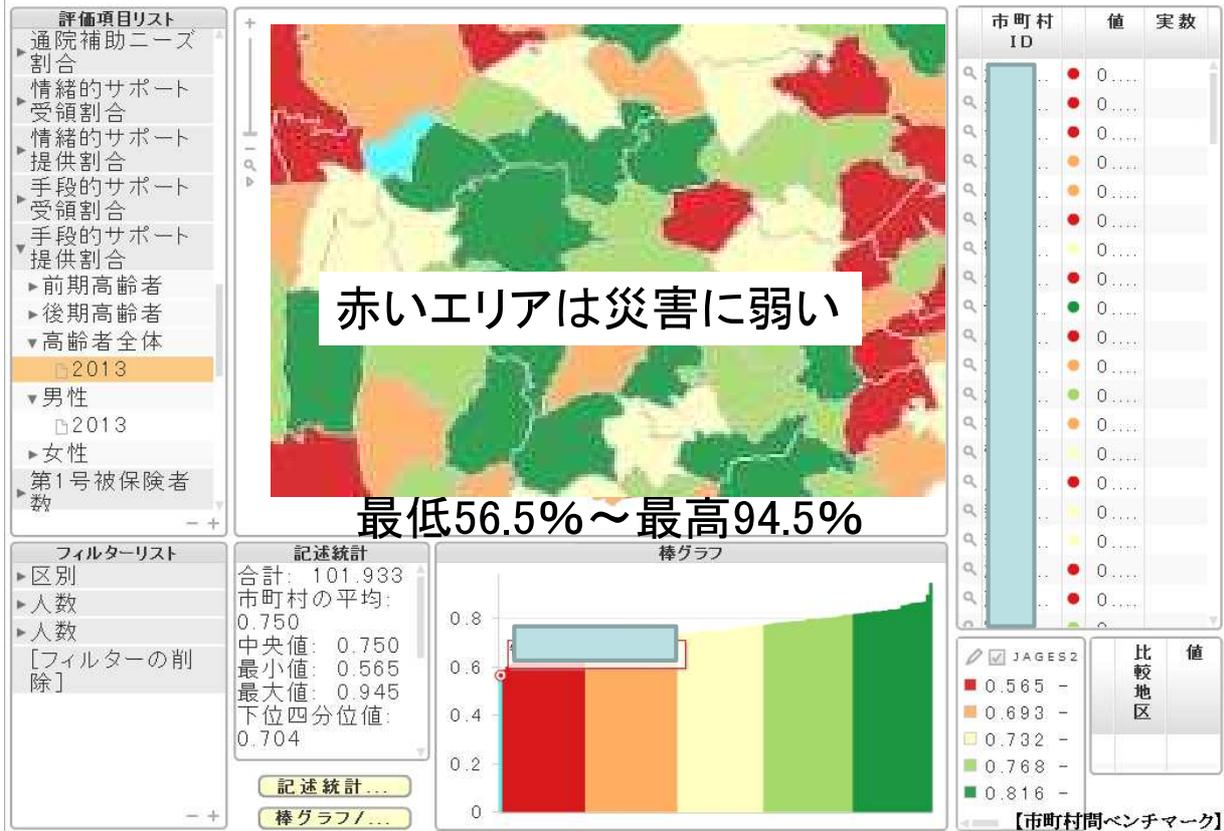
※5 Kato M, Goto A, Tanaka T, Sasaki S, Igata A, Noda M: Effects of walking on medical cost: A quantitative evaluation by simulation focusing on diabetes. *Journal of Diabetes Investigation* 4(6):667-672, 2013
 ※6 厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会, 次期国民健康づくり運動プラン策定専門委員会: 健康日本21(第2次)推進に関する参考資料, pp104-110, 平成24年7月
 ※7 論文, 報告書等発表当時の所属機関・部署等
 ※8 医療費抑制効果を1日1歩あたりの原単位として国土交通省により算出

防災レジリエンスマップの一例 手段的サポート提供

◎ 厚生労働科学研究補助金(H25-長寿-一般-003) 研究班

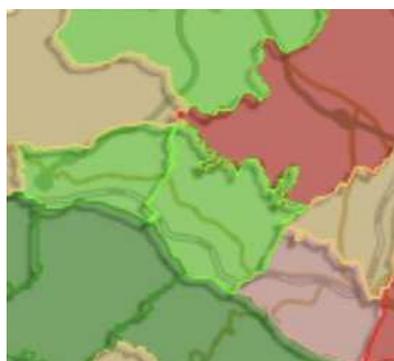
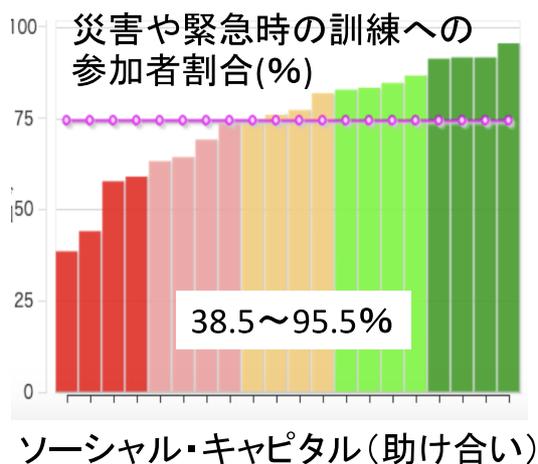
JAGES HEART 2014

手段的サポート提供割合 >> 高齢者全体 >> 2013

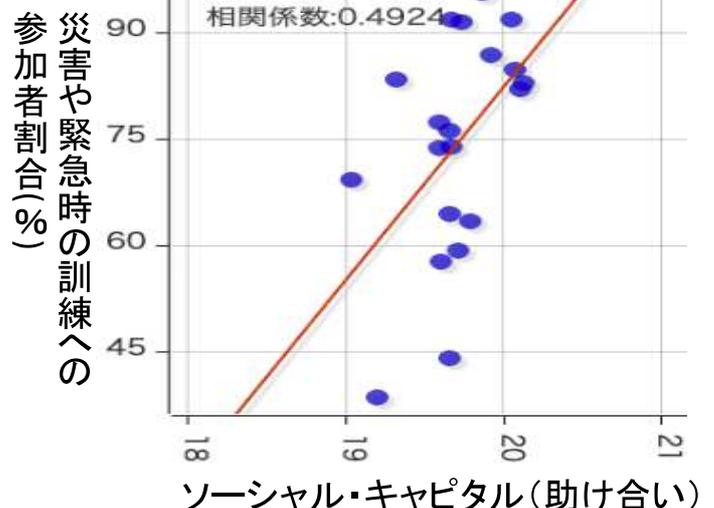


防災「見える化」システム

JAGES HEART 2019

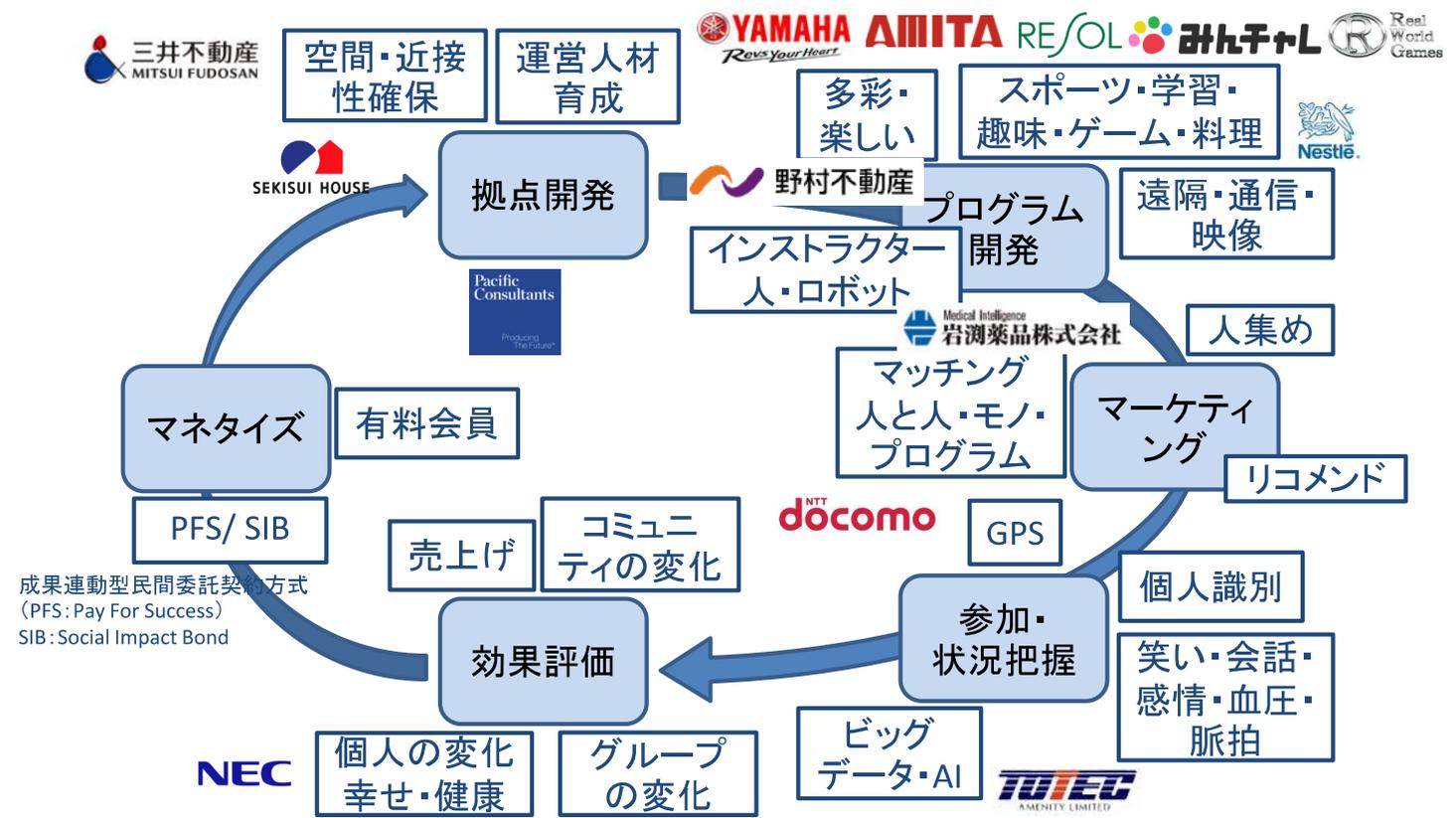


ソーシャル・キャピタルが豊かな地域ほど
防災の備えあり



← どの地域が災害に弱いかが見える

社会参加型の健康長寿幸福産業



AMITA

2022.6.18

大刀洗MEGURU STATION®



資源ゴミ分別

生ゴミを分解する
メタン君



生ゴミからできた液肥

脇のベンチで
ひと休み



多世代交流



子ども達が描いた看板

大刀洗MEGURU STATION®

ピザ釜ができると・・・



今年の植え付け式の様子



ピザ窯で焼いたピザを

大刀洗MEGURU STATION®



薪ストーブが持ち込まれ・・・

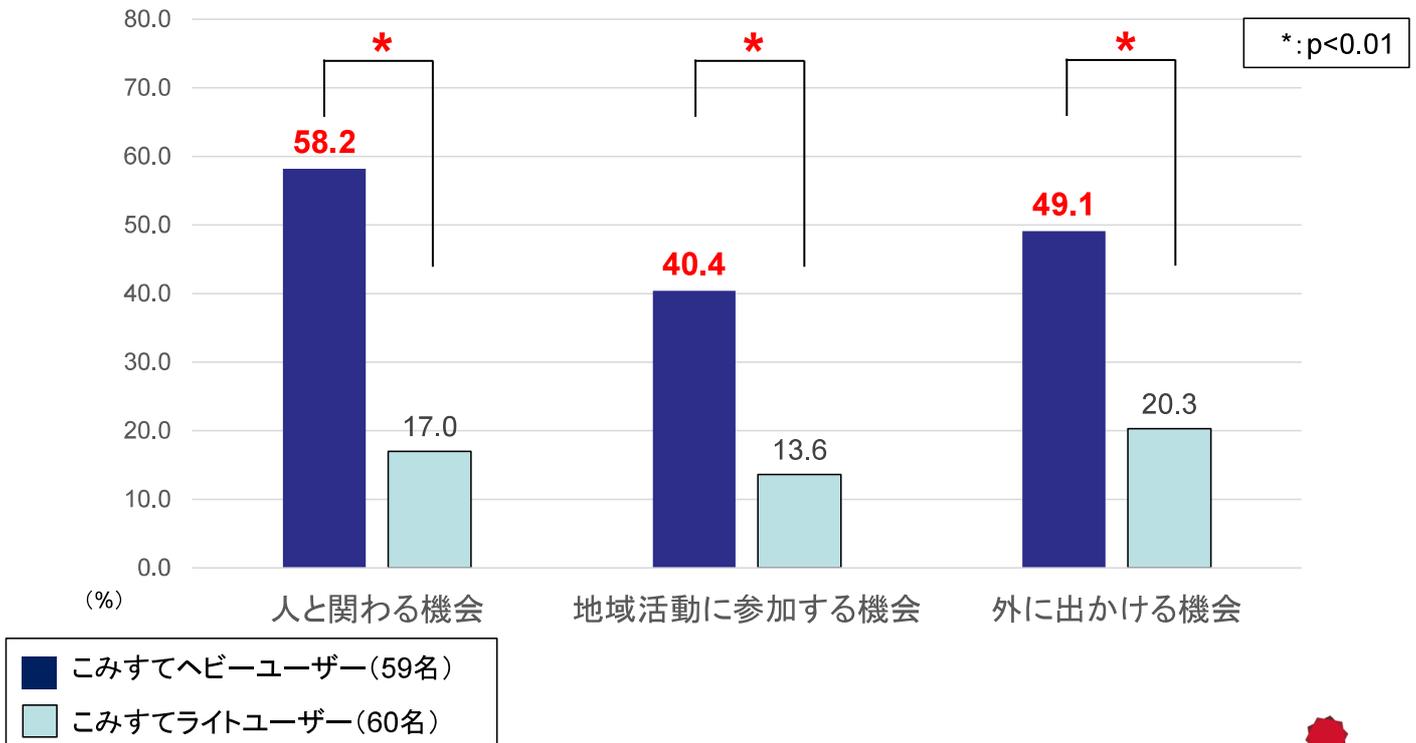


こみすて利用頻度が多い人で

萩の台住宅地自治会館
横断データ(1年後)

人との関わり・地域活動・外出機会 有意に増加

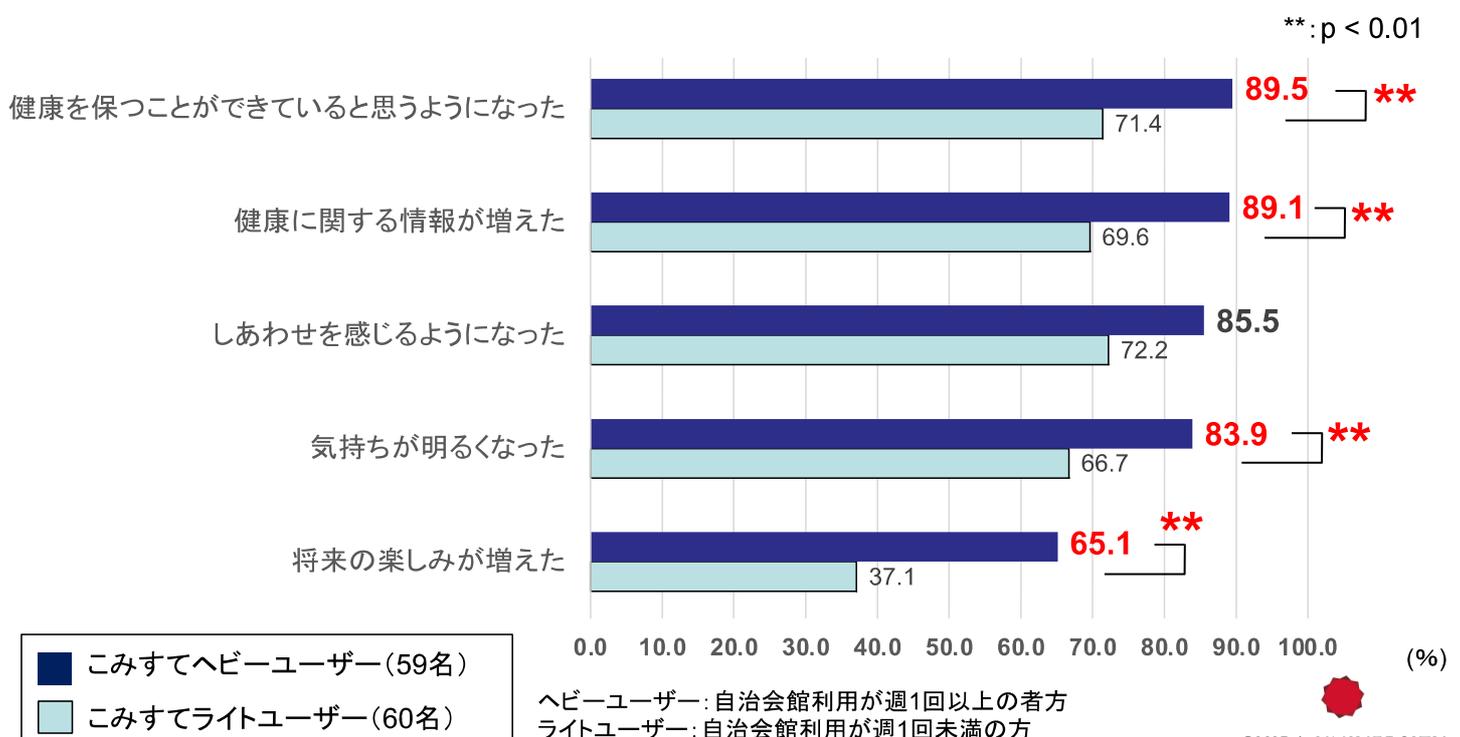
この半年間(2021年7月から現在;11月まで)に自治会館を利用したことがきっかけで下記のような機会に変化はありましたか。
⇒ 「とても増えた」または「増えた」と答えた者の割合(%)



こみすて利用頻度が多い人は 健康への意識 有意に増加

横断データ
(こみすて設置1年後)

こみすて半年前(2021年7月)と比べた、現在の様子に関する設問に「はい」と答えた者の割合(%)



- 介護予防教室から住民主体/広義の「通いの場」へ＝地域診断でPDCA回す方向へ
- 地域づくりで社会参加が増え、健康指標が改善した事例はある
- ただし、地域を変えるには5～10年はかかる
- データ活用すると多部門連携による健康長寿のまちづくりが進めやすくなる
- 官学民連携で健康なまちづくりを

シンポジウム

「産官学民連携による

健康まちづくり」

..... Memo

.....

事例発表①

「オール高知で取り組む 「高知型地域共生社会」の 推進について」

高知県 子ども・福祉政策部

地域福祉政策課 地域共生社会室

室長 渡邊 健 氏

..... Memo

.....

オール高知で取り組む 「高知型地域共生社会」 の推進について

誰一人取り残さない、つながり支え合う
『高知型地域共生社会』



高知家地域共生社会シンボルマーク

県民みんながお互いに寄り添い支え合うことで、安心して暮らし続けることができる「高知家地域共生社会」の実現につながることを「こうち」の文字で表現（R5.10.7県民投票で決定）

令和5年12月15日
高知県子ども・福祉政策部

1 誰一人取り残さない社会に向けて



1 誰一人取り残さない社会に向けて

人口減少
少子高齢化
過疎化



地域の支え合いの力の弱まり

- 地域のつながりが弱まったと答えた人
43.4%(H28) ⇒ **53.9%(R3)**
「県民世論調査」(高知県)
- 家族や親類以外に相談する人がいない
19.2%(R5)
「県民世論調査(速報)」(高知県)
- 地域活動に全く・ほとんど参加したことがない
24.5%(H21) ⇒ **56.0%(R5)**
「県民世論調査(速報)」(高知県)
- 県内各市町村長の声
ここ10年で目に見えて支え合いの力が弱まった

地域の「力」が
弱まってきた
…



2

1 誰一人取り残さない社会に向けて



中山間地域での過疎・高齢化

- 人口減少率：昭和35年 ⇒ 令和2年
高知県全体 ▲19.1% 中山間地域 **▲52.2%**
- 世帯別集落数：昭和27年 ⇒ 令和2年
20～300世帯の集落 **▲60集落**
19世帯以下の集落 **+51集落**

中山間地域では過疎・高齢化や、集落の小規模化などにより、住民主体の地域(福祉)活動が以前と比べ、十分に機能していない状況

- 孤独を感じる人の割合(内閣官房)
全国 **20.7%**(R4) (しばしば・常に・時々合計)

※子育て世帯では、『"孤"育て』が社会問題に

3

1 誰一人取り残さない社会に向けて

人口減少

少子高齢化

核家族化・
単身世帯の増

コロナ禍

これまでの制度サービスでは、対応できない課題の増加

社会的孤立

コロナ禍

ひきこもり

貧困



支え合いの力の弱まりで、
社会問題も複雑に…



8050問題

80代の親が、50代のひきこもりの子の生活を支える世帯

ダブルケア

子育てと介護を同時に担うこと



ヤングケアラー

本来、大人が担うとされている家事や
介護などを行っている子ども



4

1 誰一人取り残さない社会に向けて

これからの福祉制度

孤独・孤立が大きな社会問題。これからの福祉に大切な視点は
社会とつながる ための支援 ⇒ **社会的な孤立・孤独の解消**

① [従来型] 課題の解決が目的 ⇒ **課題解決型支援**
※例 介護保険サービス

+

② [新たな支援]
つながり続けることが目的 ⇒ **伴走型支援**

人々がつながりをもちながら、安心して生活を送ることのできる
『**地域共生社会**』の実現

5

1 誰一人取り残さない社会に向けて

② [新たな支援] つながり続けることが目的⇒伴走型支援

(例)

(1) 健康寿命の延伸をめざして

健康づくり、シニアスポーツ（ねたきりゼロ運動、健康学習、クラブ体操、ウォーキング、各種シニアスポーツなど）

(2) 地域の高齢者の暮らしを見守り、支える

ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯、支援が必要な高齢者を見守り、支えるための様々な取り組み

(3) 誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり

すべての人々が安全で安心して暮らせる地域社会を築くために、多世代と交流、連携しながら、多様な取り組みを行う

6

1 誰一人取り残さない社会に向けて

地域共生社会とは

制度・分野ごとの『縦割り』や、「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会

- 私たちの生活の安定を脅かすリスクは、誰にでもいつでも起こり得るもの。
- このことを関係機関や地域住民一人ひとりが意識しながら、お互い助け合うことができる地域づくりに、「自分ごと」として取り組むことが重要。
- こうした観点を踏まえ、誰一人取り残さない社会に向けて、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、つながり・支え合う『地域共生社会』の実現に向けて取り組む。

7

1 誰一人取り残さない社会に向けて

令和5年版

厚生労働白書

(令和4年度厚生労働行政年次報告)

—つながり・支え合いのある地域共生社会—

【令和5年版 厚生労働白書刊行に当たって】厚生労働大臣 加藤勝信

政府では、全ての世代で安心できる「全世代型社会保障」の構築に取り組んでいます。「全世代型社会保障」を構築する上では、孤独・孤立等の世代を問わず誰にでも起こりうる課題に対し、生活に身近な地域において、**誰もが支援につながり助け合えるような社会の仕組みが求められます。**

そのためには**人々が地域社会とつながりをもちながら安心して生活を送ることのできる「地域共生社会」の実現は不可欠**です。

8



2 『高知型地域共生社会』の取り組み



2 『高知型地域共生社会』の取り組み

高知県では、令和4年度から 「高知型地域共生社会」の取り組みを推進！

- 令和4年10月の全市町村長、全社会福祉協議会会長、知事による「高知家地域共生社会推進宣言」を実施。
- 令和5年10月には、42の民生委員児童委員協議会と56の民間企業・団体が共同宣言に参画

➡ オール高知で取り組む機運の高まり

高知家地域共生社会推進宣言（R4.10.30）

高知家の一人ひとりが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けることができるよう、人と人、人と社会が相互につながり、支え合う『地域共生社会』の実現に向けて、次のとおり宣言します

- 1 どんな困りごとでも受けとめて寄り添う仕組みづくりに取り組みます
- 2 誰もが身近な地域で人や社会とつながることができる場づくりに取り組みます
- 3 住民が主体となった支え合いの地域づくりを後押しします

10

2 『高知型地域共生社会』の取り組み

「高知家地域共生社会推進宣言」に基づき、 2本柱で施策を推進



一人ひとりの力をつなげ地域で共に支え合う「高知型地域共生社会」の実現へ

柱1 行政主体の「たて糸」

市町村の多機関協働型の包括的な支援体制の整備の推進

柱2 地域主体の「よこ糸」

「つながり」を実感できる地域づくり



たて糸とよこ糸で織りなす高知型地域共生社会の拠点としてあつたかふれあいセンターを活用



11

2 『高知型地域共生社会』の取り組み

＜高知型地域共生社会の実現イメージ＞



柱1 行政主体の「たて糸」

市町村の多機関協働型の包括的な支援体制の整備の推進

県民運動として展開

柱2 地域主体の「よこ糸」

「つながり」を実感できる地域づくり



県下全域で展開！

地域共生社会の拠点として、あったかふれあいセンターを活用



- 1 人と人のつながりの再生に向けたネットワークづくり
- 2 地域資源を活用した居場所や社会参加の場の拡大
- 3 県民の理解促進と参画意識の醸成

2 『高知型地域共生社会』の取り組み

誰もが役割と生きがいを持つ社会

- ・居場所づくり
- ・社会とのつながり
- ・多様性を尊重



- ・生きがいづくり
- ・安心感ある暮らし
- ・健康づくり、介護予防

- ・担い手づくり
- ・地域資源の有効活用
- ・雇用創出等による経済価値の創出

- ・社会参加の場や機会の提供
- ・多様な主体による、暮らしへの支援への参画

2 『高知型地域共生社会』の取り組み

濱田知事政策集

2. いきいきと生活ができる高知

- 女性が活躍できる環境整備を目指し、新たな**若年人口増加対策**の展開
- **中山間対策と少子化対策**に一体的に取り組み、地域を再興、次世代に引継ぎ
- 健康で地域の力で支え合う社会を目指して、**高知型地域共生社会**を実現
- 確かな学力、健やかな体、豊かな心で未来の希望に、**子どもの育成・人づくり**
- 心豊かで胸躍らせる社会を実現、**文化芸術・スポーツ**を振興

2 いきいきと生活ができる高知

(3) 健康で地域の力で支え合う社会を目指し、高知型地域共生社会を実現

誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けることのできる高知県を目指し、日本一の健康長寿県構想を発展させ、一人ひとりの力をつなげて地域で共に支え合う「高知型地域共生社会」の実現を図ります。

- ③ 高知型地域共生社会の実現に向けて、地域が一丸となってオール高知で取り組めるよう、官民協働による県民運動を強力に展開する。
- ④ 今後の高知型地域共生社会の拠点として活用ができるよう、県内各地に広がったあったかふれあいセンターについて、地域のニーズに応じて機能の拡張や必要となる人材の確保を行う。

14

2 『高知型地域共生社会』の取り組み

県議会12月定例会知事提案説明

(1) 日本一の健康長寿県づくり

(略) 少子高齢化の進行などに伴う地域の支え合いの力の弱まりや、8050問題といった複合課題へのさらなる対応も求められています。こうした現状を踏まえ、次期日本一の健康長寿県構想では、次の4つの観点から施策の抜本強化を図ります。

(略) 4つ目は、制度や分野を超え、地域で相互につながり支え合う高知型地域共生社会の推進にオール高知で取り組みます。

市町村における包括的な支援体制の整備を行政主体の「縦糸」として、民間事業者と連携した地域の見守り活動など、人と人とのつながりの再生に向けたネットワークづくりを地域主体の「横糸」として、関連施策を推進します。

また、高知型地域共生社会の拠点となるあったかふれあいセンターについて、幅広い世代に様々な用途で利用されるよう、機能の拡充と担い手の確保に取り組みます。

15

3 「つながり」を実感できる地域づくり ～「よこ糸」の具体的な取り組み～



3 「つながり」を実感できる地域づくり ～「よこ糸」の具体的な取り組み～

柱2 地域主体の「よこ糸」

「つながり」を実感できる地域づくり



1 人と人とのつながりの再生に向けた支援ネットワークづくり

2 地域資源を活用した居場所や社会参加の場の拡大

3 県民の理解促進と参画意識の醸成

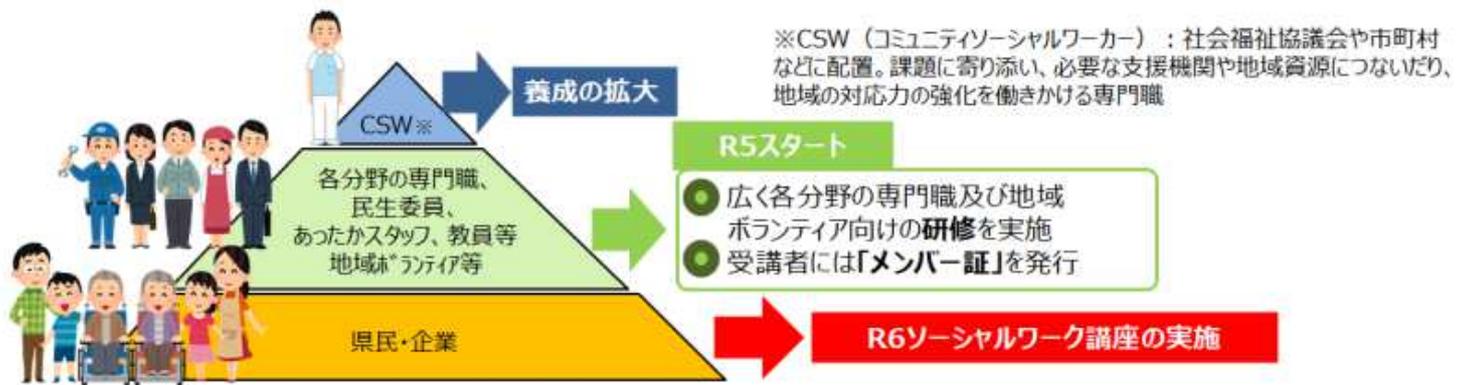
3 「つながり」を実感できる地域づくり ～「よこ糸」の具体的な取り組み～

1 人と人とのつながりの再生に向けた支援ネットワークづくり

ソーシャルワークの網の目構築プロジェクト 「気づいてつなぐ高知家地域共生社会研修」

ソーシャルワークの網の目構築プロジェクト

地域で活躍するコミュニティソーシャルワーカー（CSW）の養成の拡大を図るとともに、多くの方に、ソーシャルワークの概要と実践のポイントを学んでいただき、きめ細かな支援の網の目を紡いでいくことを目的にR5から実施。



3 「つながり」を実感できる地域づくり ～「よこ糸」の具体的な取り組み～

1 人と人とのつながりの再生に向けた支援ネットワークづくり

民間企業と民生委員児童委員による地域の 見守り活動の推進（KPI：50社（R5:25社））

郵便局や運送業などの民間の事業者には、地域の見守り活動にご協力いただく「地域の見守り活動に関する協定」の取り組みを実施。



（株）高知銀行、あいおいニッセイ同和損害保険（株）高知支店、ヤマト運輸（株）高知主管支店協定締結式（令和3年11月30日）



3 「つながり」を実感できる地域づくり ～「よこ糸」の具体的な取り組み～

地域の見守り協定企業一覧（25社）

- 高知新聞販売所 高新会・株式会社高知新聞社（平成19年4月6日）
- 株式会社サンブラザ（平成19年8月28日）
- こうち生活協同組合（平成19年10月19日）
- 高知ヤクルト販売株式会社（平成19年11月29日）
- 四国電力株式会社（高知支店・中村支店）（平成20年10月8日）
- JAグループ高知（県下の全農業協同組合・高知県農業協同組合中央会）（平成22年1月15日）
- 高知医療生活協同組合（平成22年11月25日）
- 株式会社サニーマート（平成26年5月29日）
- 株式会社セブン-イレブン・ジャパン（平成27年11月27日）
- 第一生命保険株式会社高知支社（平成29年5月23日）
- 東京海上日動火災保険株式会社高知支店（平成30年6月4日）
- 一般社団法人高知県損害保険代理業協会（平成30年6月4日）
- 明治安田生命保険相互会社高知支社（平成30年6月4日）
- 日本生命保険相互会社高知支社（平成30年6月20日）
- 三井住友海上あいおい生命保険株式会社高知生保支社（令和元年5月29日）
- 高知県医薬品配置協議会（令和元年11月27日）
- アルフレッサ篠原化学株式会社（令和2年10月9日）
- 株式会社高知銀行（令和3年11月30日）
- あいおいニッセイ同和損害保険株式会社高知支店（令和3年11月30日）
- ヤマト運輸株式会社高知主管支店（令和3年11月30日）
- 四国アルフレッサ株式会社（令和4年7月20日）
- 株式会社フォーティ・エス（令和4年7月20日）
- 高知ダイハツ販売株式会社（令和5年2月15日）
- 株式会社シニアライフクワイエット（令和5年6月9日）
- 日本郵便株式会社（令和5年6月30日）



※このほか、高知県警察本部と高知県民生委員児童委員協議会連合会との間でも協定を締結しています。（平成23年3月9日）

3 「つながり」を実感できる地域づくり ～「よこ糸」の具体的な取り組み～

1 人と人とのつながりの再生に向けた支援ネットワークづくり

高知家地域共生社会推進宣言企業・団体による 地域活動の拡大（KPI：100社(R9)（R5:56社）

R4の県、全市町村、全社会福祉協議会による「高知家地域共生社会推進宣言」に引き続き、民生委員児童委員協議会や企業・団体が共同宣言に参画し具体的な地域のつながりづくりに取り組むことを宣言。



知事よりこうち生活協同組合に宣言書を交付（令和5年10月7日）



3 「つながり」を実感できる地域づくり ～「よこ糸」の具体的な取り組み～

高知家地域共生社会推進宣言企業・団体一覧 (56社・団体)

- 株式会社シニアライフクリエイト
- 高知新聞販売所 高新会
- 株式会社 高知新聞社
- 社会福祉法人土佐香美福祉会
- 社会福祉法人 伊野福祉会
- 佐川急便株式会社 高知営業所
- 株式会社サンブラザ
- 四国アルフレッサ株式会社
- あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
- 高知支店
- 新進建設株式会社
- ワールドビジネスシスコム株式会社
- 有限会社 藤中電設
- トヨタカーロー高知株式会社
- 一般社団法人エンジェルガーデン南国
- 株式会社響建設
- 有限会社岡林土建
- 高知ヤクルト販売株式会社
- 株式会社益製作所
- 仁淀建設有限会社
- 株式会社ベルモニー ベルモニー高知
- 有限会社水田建設
- 株式会社エスエス
- 有限会社十和建設
- 社会福祉法人 愛生福祉会
- 公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団
- 有限会社 誠興建設
- こうち生活協同組合
- 吉岡工栄株式会社
- 株式会社津島工業
- 豚座建設株式会社
- 高知機型工業株式会社
- 株式会社日東水道
- 株式会社 コーワ
- 株式会社タイハイ
- 株式会社城南タイハイ
- 四国ガス株式会社 高知支店
- 一般社団法人 高知県医師会
- 一般社団法人 高知県歯科医師会
- 有限会社長崎電機
- 社会福祉法人秦ダイヤライフ福祉会
- 日本生命保険相互会社 高知支社
- 公益社団法人 高知県薬剤師会
- 株式会社 山興
- 株式会社西日本科学技術研究所
- 学校法人龍馬学園
- 社会福祉法人 さわらび会
- ミタニ建設工業株式会社
- 教育研究所・オフィスちゅうらさん
- 有限会社タクシン不動産
- 有限会社秦ホーム
- 社会福祉法人 海の里
- 高知県精神保健福祉士協会
- 株式会社 轟組
- 四国電力株式会社 高知支店
- 四国電力送配電株式会社 高知支社
- 四国電力送配電株式会社 中村支社



3 「つながり」を実感できる地域づくり ～「よこ糸」の具体的な取り組み～

高知家地域共生社会推進宣言企業の取り組み紹介

株式会社シニアライフクリエイト	<ul style="list-style-type: none"> ・配食地域の高齢者へ声かけ、見守りや安否確認活動 ・地域包括支援センターや介護職員と連携し地域高齢者の健康づくりに関するイベントの実施 ・空きスペースを活用した地域の居場所（サロン）の開設 ・子ども食堂へのボランティア参加
四国アルフレッサ株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・病院・クリニック・調剤薬局などを中心に医療用医薬品の配達業務、または販売・営業活動を行っている中で地域の困っている人を見かけた際、声掛けや相談窓口への連絡を行う
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 高知支店	<ul style="list-style-type: none"> ・地域企業や住民の皆さまにセミナー・イベントの開催を行います。 ・地域のごみ拾いや草刈りなどの清掃活動に取り組みます。 ・地域が主体となった健康づくりを後押しします。
有限会社 藤中電設	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺道路の清掃活動 ・社会貢献活動への寄附 ・育児休暇・育児休業の取得促進宣言への賛同
トヨタカーロー高知株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のお祭りやイベントへの協賛
吉岡工栄株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での災害発生時の早期復旧活動・支援活動
高知機型工業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練・炊き出し訓練の実施 ・地域のお祭りやイベントへの協賛 ・ボランティア活動や社会貢献活動への寄附
四国ガス株式会社 高知支店	<ul style="list-style-type: none"> ・社会・地域貢献活動を実施 (地域ボランティア活動への参加、フードバンクへ食品提供、こどもの未来応援基金への寄附)
公益社団法人 高知県薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> ・お薬や健康等に関する質問や相談があった場合には、対応及び関係機関等につなぐ。 ・健康やお薬に関する広報の実施。
ミタニ建設工業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・「やいちゃんこども110番ステッカー」の配布・掲示

3 「つながり」を実感できる地域づくり ～「よこ糸」の具体的な取り組み～

2 地域資源を活用した居場所や社会参加の場の拡大

- あったかふれあいセンターを活用した新たな中山間地域介護サービスモデル「高知方式」の展開やオンライン診療など多世代・多用途への活用推進
- 宣言企業と高知県立大学との協働による新たな地域活動の創出
- 市町村社会福祉協議会活動の見える化による活性化事業
- 【高齢】住民主体のフレイル予防活動等健康増進の取り組みの推進
- 【障害】農福連携支援会議を核とした障害のある方等の就労支援の充実
- 【子ども】子育て経験者による相談体制づくり等住民参加型の子育て支援の充実
- 【子ども】子育て世帯の孤立感や負担感の軽減に向けた子ども食堂の設置促進
- 【子ども】地域で支え合うファミリー・サポート・センター事業の拡大
- 【子ども】子育てアプリ「おでかけるんだパス」を活用した子育て支援サービスの拡充
- 異変に気付き、適切に対応できるゲートキーパーの養成拡大



24

3 「つながり」を実感できる地域づくり ～「よこ糸」の具体的な取り組み～

3 県民の理解促進と参画意識の醸成

- ボランティア活動・福祉教育の推進に向けたプラットフォームの構築・小中学生を対象とした「Tryボラ」や学生の進学や就職を支援する長期体験プログラム「ハバタケプログラム」の実施など
- 「高知型地域共生社会」を冠した様々なイベントの実施
- 高知家地域共生社会ポータル等を通じた啓発や好事例の発信



日頃からの挨拶や声かけ、地域のお祭りや清掃活動への参加といった身近なことからでも参画する意識を醸成



25

まとめ



- 人口減少や高齢化、核家族化が進む中、地域の支え合いの力の弱まりや孤立・孤独の問題が深刻化しています。
- 高知県では、高知型地域共生社会の推進を分野横断的な施策の柱として位置付け、取り組みを強化しています。
- この取り組みは、制度サービスの狭間に陥る方を見逃さない行政の仕組みづくりだけでなく、同時に「つながり」を実感できるの地域づくりを進めることで、本日のテーマである県民の健康づくりや高齢者支援、子育て支援などにもプラスに働くと考えています。
- 誰一人取り残さない社会を目指し、つながり・支え合う『高知型地域共生社会』の実現に向けて取り組んでまいります。引き続き、皆様方のご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

26



ご静聴、ありがとうございました。



27

事例発表②

「高知市型共生社会の

実現を目指して

～高知市の重層的

支援体制～」

高知市 健康福祉部

地域共生社会推進課

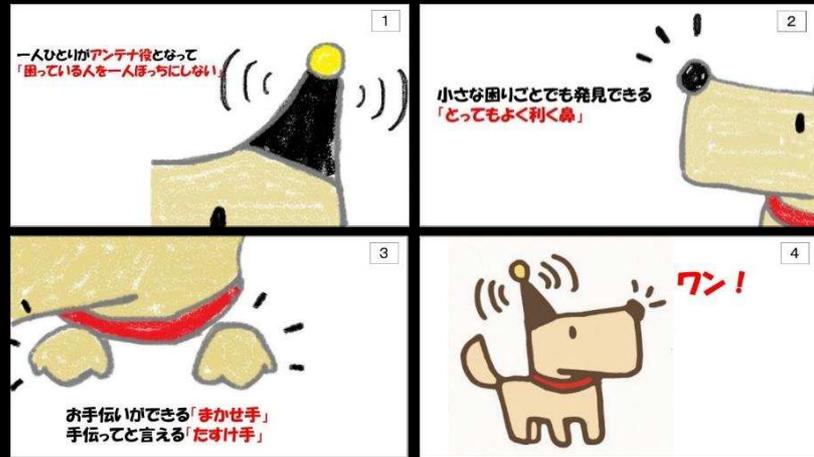
課長補佐 山下 隆文 氏

..... Memo

.....

高知市型共生社会の実現を目指して

～高知市の重層的支援体制～



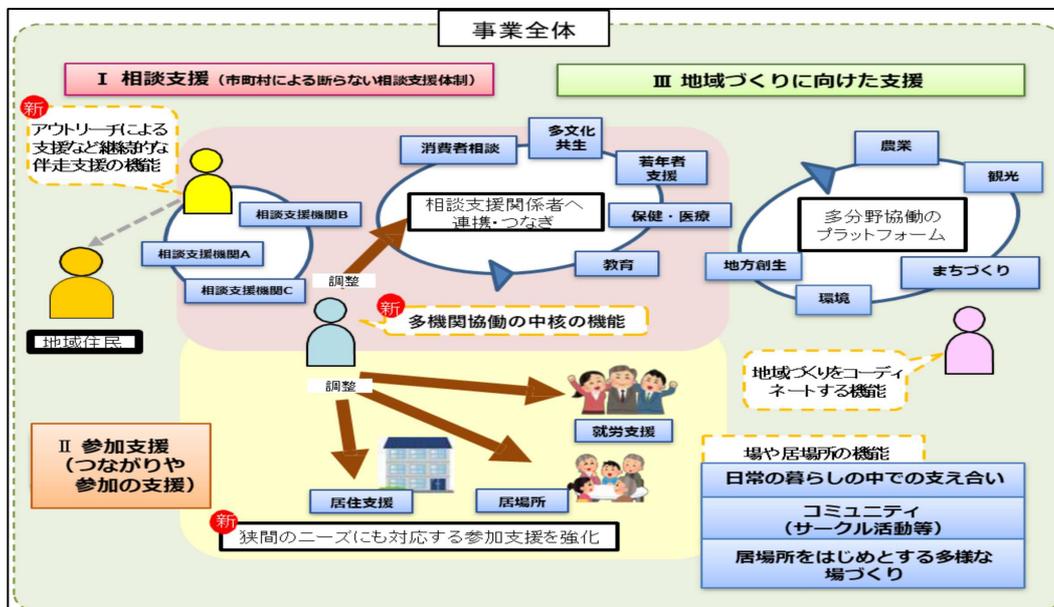
支え合いのシンボル「ほおっちょけん(犬)」
 (「ほおっちょけん」=土佐弁でほうっておけない)

I 重層的支援体制整備事業

① 事業全体像

“入口”と“出口”の話

重層的支援体制整備事業



高知市の重層的支援体制

- 重層交付金対象の事業だけではなく、生活保護や成人・精神保健、まちづくり、防災、教育、環境、消防など、あらゆる分野との協働による支援体制を構築する。
- 制度・仕組みを整えるとともに、職員の意識改革・支援力向上を図ることで、実効性のある取組とする。
- 縦割りの壁を解消し、各分野が協働して一体的に支援することによって、支援力の向上を図るとともに、職員の仕事のやりやすさにもつなげる。

3

2 組織体制

① 市役所の機能強化

“縦割”の打破

～縦の組織に横串を～

○地域共生社会推進課の設置(R3)

- ・複数の部局・課が関わる事案の企画・調整・マネジメントを担う

○地域共生社会推進本部の設置(R3)

- ・市長をトップとし、全部局長が集まり、情報共有・協議・検討を行う
- ・課レベルは本部の下位組織として「部会」を設置
- ・福祉部門には、現場レベルでの協働のマネジメント役を配置（包括的相談支援員）

○職員の意識改革

- ・研修の企画・実施など



「担当じゃありません」は、時代遅れです。

だからといって、全部自分がやればいけない。部署別の業務がある。役割分担がある。担当制もある。「これはあてこの仕事だ。」これはあてこの担当だ。」は必要。でも... もっと何かできないか、もっと高知市を良くするために。

当たり前
社会が変わった ⇒ 市役所の仕事も変わる

4

2 組織体制

② 地域共生社会推進本部

「地域共生社会」の理念共有 複数部局に関わる課題の対応策について協議等を行う。

高知市地域共生社会推進本部

【役割】 庁内横断的な対応を要する課題の情報共有，施策の方針を決定・推進
 【構成員】 本部長：市長
 副本部長：両副市長
 本部長：部局長

幹事会

【役割】 庁内横断的な対応を要する課題の情報共有，施策の方針を決定・推進
 【構成員】 幹事長：健康福祉部副部長
 副幹事長：総務部政策推進室長・市民協働部副部長・地域共生社会推進担当参事
 幹事：各部署副部長級職員

部会

部会名 (テーマ)	(1) 包括的支援体制推進部会 (R2: 相談支援包括化推進部会から 名称を改める)	(2) 防災福祉部会		(3) 地域活動支援検討部会
概要	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援包括化の推進に向けた仕組みの検討及び整備 地域づくりに向けた支援体制の構築 支援状況から把握した個別課題及び地域課題の共有，解決策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 情報共有・スキルアップ等 地域別共生カルテ作成 	避難行動要支援者対策	市民主導による地域活動に対し市税の1%を活用・還元する仕組みを検討
事務局	地域共生社会推進課	地域コミュニティ推進課	地域防災推進課	地域コミュニティ推進課
構成員	設置規程のとおり，関係部局の幹事（副部長級）又は関係課長で構成する			

5

2 組織体制

③ 包括的相談支援員

包括的相談支援員

地域共生社会推進課

役割

- 包括的相談支援員のコーディネート
- 多様化・複雑化した課題等を抱える世帯への支援状況の把握・分析
- 相談支援包括化の推進に必要な研修等の企画・運営
- 包括的支援体制推進部会（課長級）の運営

健康福祉部

基幹型地域包括支援センター

障がい福祉課
(基幹相談支援センター)

福祉管理課

第一福祉課

第二福祉課

健康増進課

こども未来部

母子保健課

子ども家庭支援センター

子ども育成課
(子ども発達支援センター)

教育委員会

教育研究所
(教育支援センター)

包括的相談支援員の役割

- 担当分野の職員等からの相談に対する助言
- 多様化・複雑化した課題等により相談支援関係部署が複数にまたがる場合等のマネジメント
- 相談支援包括化の推進に必要な研修等の企画・運営協力

6

社会情勢の変化に対する挑戦

○福祉的な支援のレベルUP

- ・組織的な連携体制の構築 … 地域共生社会推進本部、包括的相談支援員配置など
- ・個人能力のアップ … 職員研修など
- ・事例の積み上げによる制度改正・新たな施策の企画など

○誰もが困りごとを相談しやすい“街”に

- ・市役所の「どこに」「どのような」相談がきても「しっかり聞いて」「しっかりつなぐ」 ※当たり前
- ・地域の身近な場所に「なんでも相談できる」窓口を設置 … ほおっちょけん相談窓口

○現代にあった“つながり”作り ※社会資源の創出・強化

- ・認知症カフェ、子育てサロン、子ども食堂など様々な“居場所”の創出や住民ボランティアの育成など

○多様な主体との協働(担い手の確保)

- ・住民、団体、民間企業など ※企業の社会貢献の思いと住民や地域の課題・ニーズのマッチング

3 相談支援

① 相談支援体制の整備

1. 相談を受けとめる仕組みづくり

【当り前のことを改めて整理】

- ① 「どこに」「どんな」相談がきても「しっかり聞いて」「しっかりつなぐ」。
- ② 関係機関での連携が必要な場合には協力して支援する。

整理

①断らない相談窓口

重層交付金の対象に関係なく、相談支援を行う関係機関を相談支援機関として位置づけ

②関係機関が連携するための仕組みを構築

- ・連携のマネジメント等を担う**包括的相談支援員**を配置
- ・**多機関協働のガイドライン**を策定
- ・**支援会議・重層的支援会議**の開催方法の整理

●相談支援機関 = 断らない相談窓口 計34か所を位置づけ

介護

- 高齢者支援課
- 基幹型地域包括支援センター【直営】1センター【直営】1出張所
- 地域包括支援センター【直営】1センター【委託】13センター

子ども

- 保育幼稚園課
- 母子保健課
- 子ども育成課
- 子ども家庭支援センター
- 子育て世代包括支援センター【直営】4センター

障がい

- 障がい福祉課 ○健康増進課
- 基幹相談支援センター・【直営】1センター
- 障害者相談センター・【委託】14センター

生活困窮

- 福祉管理課
- 生活支援相談センター・【委託】1センター

2. 住民が、より相談しやすい環境づくり

【目的】

- ①困ったときに相談できる先があり、支援につながる仕組みづくり。
- ②自分が相談しやすい所に相談できる環境づくり。

設置

○住民に身近な地域に「なんでも相談窓口」を設置。

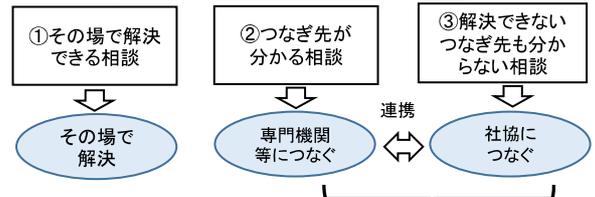
名称：ほおっちょけん相談窓口

- ・趣旨に賛同した、薬局や社会福祉法人が運営する事業所で開設(無償)。
- ・住民の困りごとを受け止める「入口」と、解決をする「出口」の両方の役割。



困りごとを相談

ほおっちょけん相談窓口



○必要に応じて「参加支援」「多機関協働による支援」へ。

！**寄せられた相談を地域づくりへ**

寄せられた相談内容などを共有し地域でできることを話し合う

ネットワークの創出につなげる。

3 相談支援

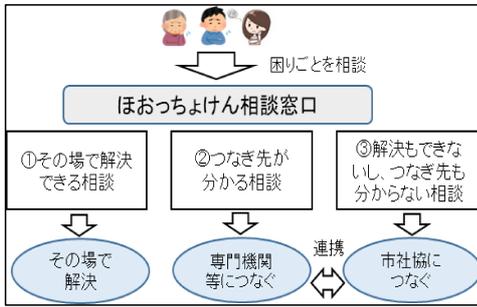
② ほおっちょけん相談窓口

○ **薬局**や**社会福祉法人**(介護、障がい、保育など)に設置

○現在 **104か所**設置済

○**無償**で協力いただいている

○相談窓口の入口に目印の**シール**を貼付



9

4 相談支援から参加支援へ

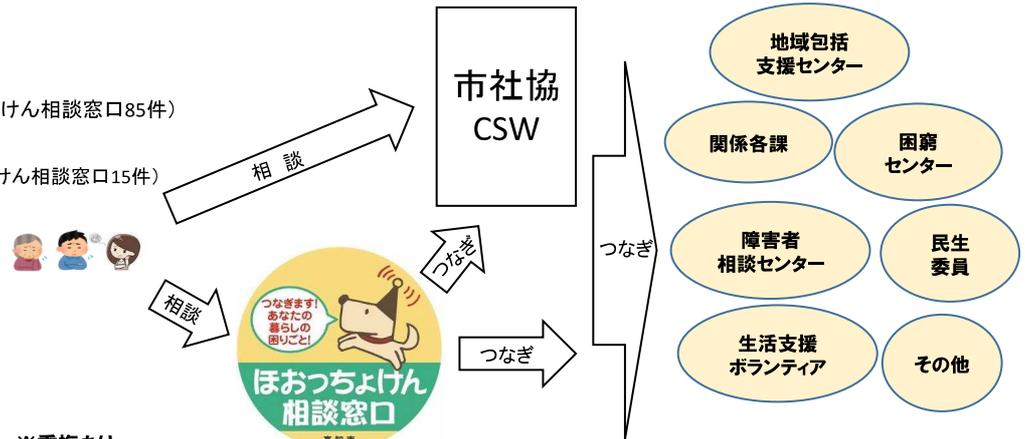
① 相談をつなぐ仕組み

相談受付件数

R4: 360件 (うちほおっちょけん相談窓口85件)

R5: 140件 (うちほおっちょけん相談窓口15件)

※R5は9月末時点



R5年度の内訳

※重複あり

介護	障害	子育て	経済的困窮	病気健康	掃除	庭掃除	ごみ出し分類	電球交換	買い物	家族関係	ご近所関係	社会参加	その他
24	5	2	9	8	2	5	11	4	0	6	6	8	56



対応内容	数
関係機関につないだ	40
関係機関を紹介した	22
情報提供や相談対応で終了	64
対応開始	14

その他の内訳

ペット	生活の困りごと	見守り	行政手続	空き家	孤独	地域活動	その他
3	18	5	7	3	5	6	9

- ・スマホが無くなった。鳴らしてくれないか
- ・市外にあるお墓が気になる
- ・隣の家がごみ屋敷
- ・インターネット関係が分からない
- ・ハチの巣で困っている
- ・隣の家の人が心配
- ・百歳体操を始めたいけどどうしたらいいか



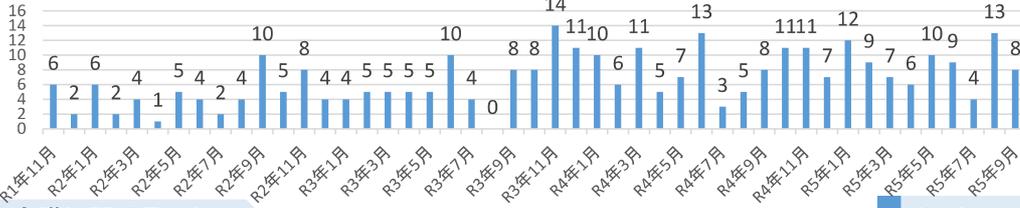
10

4 相談支援から参加支援へ

② ほおっちょけん相談窓口の実績

ほおっちょけん相談窓口の実績

相談件数：323件（令和元年11月5日から令和5年10月まで）



介護に関すること

- 体調が悪く介護申請をしたい
- 退院後の介護に関して相談したい
- 親が左半身麻痺もあり引きこもり状態になっている。外に行く機会や誰かと話をできる人がいてほしい
- 夫が引きこもり状態。物も捨てさせてくれない。夜も眠れず精神的に疲労が重なっている(高齢者)
- 独居で将来を考えると施設に入ること考えたい。介護認定は受けてないが施設に入ることできないか。

生活に関すること

- お弁当をとりたい。部屋の掃除も困っている(高齢者)
- 近くのスーパーが閉店し、食事等の買い物が不便になった
- 体温計の電池が切れた
- 血圧計の時計の表示がおかしい
- 戸車の交換をしたい。手伝ってくれる人はいないか
- 洗面所の排水管からの水漏れ
- 買い物を手伝ってほしい
- 電球交換してもらいたい
- 草刈りをお願いしたい
- ハチの巣駆除
- 洗濯を手伝って欲しい(コインランドリーの付き添い)

障害に関すること

- 障害年金が終わった後の、年金について知りたい
- 身体障害者手帳を所持してから一度も税金の控除を受けたことがない。税金の払い戻しはできるか
- 発達障害があり、仕事に支障がある。支援してくれるところはないか(親族からの相談)

その他

- 欲しい防虫剤がなく、他の防虫剤を買ってきたが大丈夫か
- 子ども食堂について知りたい
- コロナワクチンの予約の仕方を教えてほしい
- 湿布薬が自分で貼れない
- 特定疾病の手続きについて知りたい
- 成年後見制度について
- 障害があり災害時の避難をどうすればよいか等不安がある
- 夫婦間のトラブル

子育てに関すること

- 子どもの離乳食の相談をしたい。

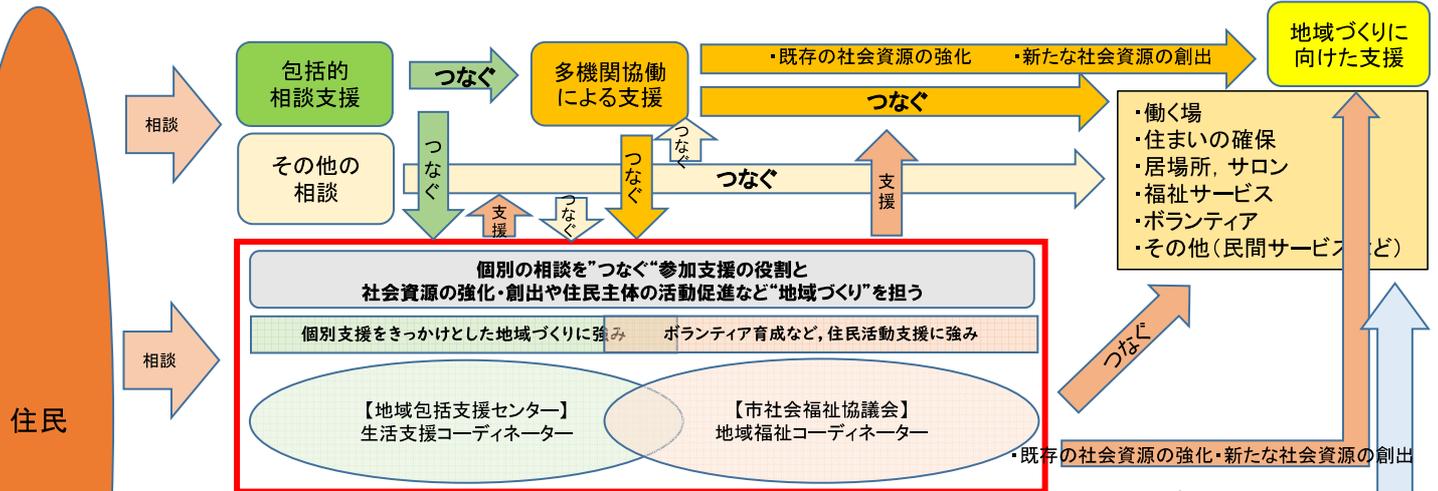
経済的困窮に関すること

- 新型コロナウイルスでの貸付けの申請がしたい

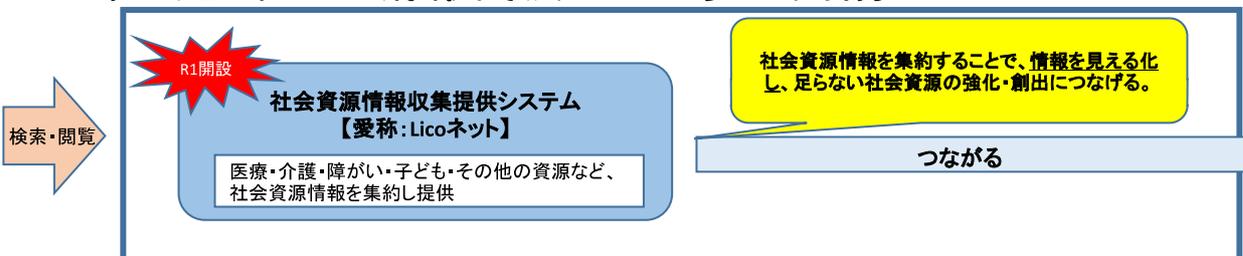
5 参加支援

① 参加支援の体制

1. 個別支援における参加支援



2. 市民全体への情報提供による参加支援



5 参加支援

②高知くらしつながるネット「リコネット」の実績

高知くらしつながるネット（Licoネット）

関係者の方はこちら>

お知らせ

- 2023/09/13 〇〇〇
- 令和5年度 高知市社会資源情報収集提供事業調査の実施について
- 2023/05/15 〇〇〇
- よくあるご質問
- 2023/05/15
- 《お知らせ》操作・検索方法はマニュアルをご覧ください
- 2021/04/07
- 《お知らせ》イベントカレンダーへの情報掲載について
- 2020/03/09
- 《お知らせ》新型コロナウイルス感染症関連情報

詳細検索へ > 一覧

年	月	PV数 合計	PV数	カテゴリ検索における分野ごとのPV数					
				医療	介護	障害	子育て	地域資源	相談窓口
令和元年度	1月		4,229	-	-	-	-	-	-
	2月	35,904	23,895	1,005	1,102	325	581	714	-
	3月		7,780	174	208	85	110	147	-
令和2年度	4月		6,056	128	102	97	52	51	-
	5月		6,403	49	16	76	52	47	-
	6月		9,662	105	246	101	67	86	-
	7月		9,992	93	293	115	94	204	-
	8月		7,757	47	168	68	51	60	47
	9月	140,474	11,225	134	157	134	109	90	34
	10月		13,547	153	278	155	110	179	72
	11月		11,806	179	172	123	95	109	59
	12月		12,191	91	122	94	79	69	72
	1月		22,175	179	172	123	95	109	59
	2月		12,811	44	129	76	73	64	33
	3月		16,849	92	262	213	73	82	46
令和3年度	4月		13,964	43	180	133	63	38	25
	5月		14,859	61	148	113	91	79	57
	6月		20,659	278	268	251	95	105	74
	7月		14,718	81	196	118	38	51	48
	8月		12,194	49	245	93	60	68	42
	9月		16,461	71	205	95	63	74	66
	10月	191,710	16,553	99	175	111	62	90	42
	11月		15,563	83	229	109	100	109	57
	12月		15,067	64	215	84	38	90	40
	1月		23,398	203	259	162	148	121	108
	2月		14,431	29	157	87	59	58	31
	3月		13,843	55	154	73	50	63	27
令和4年度	4月		15,532	61	270	75	45	91	59
	5月		14,828	52	195	84	45	70	42
	6月		23,638	206	374	206	74	110	57
	7月		16,324	47	181	111	68	124	54
	8月		16,363	60	103	112	39	55	41
	9月	217,318	17,695	43	137	69	36	40	38
	10月		20,782	61	115	81	53	101	97
	11月		18,891	54	102	77	57	55	17
	12月		15,339	32	96	73	12	42	41
	1月		21,847	88	120	114	41	63	39
	2月		20,866	94	137	140	52	52	56
	3月		15,213	45	113	111	13	46	22
令和5年度	4月		15,168						
	5月		17,969						
	6月		21,899						
	7月		18,975						
	8月		17,193						
	9月	124,176	16,898						
	10月		16,074						
	11月								
	12月								
	1月								
	2月								
	3月								
合計			709,582	4,432	7,801	4,467	3,043	3,806	1,602

さらに

〇グループツール活用による支援者の業務効率化と情報共有の推進

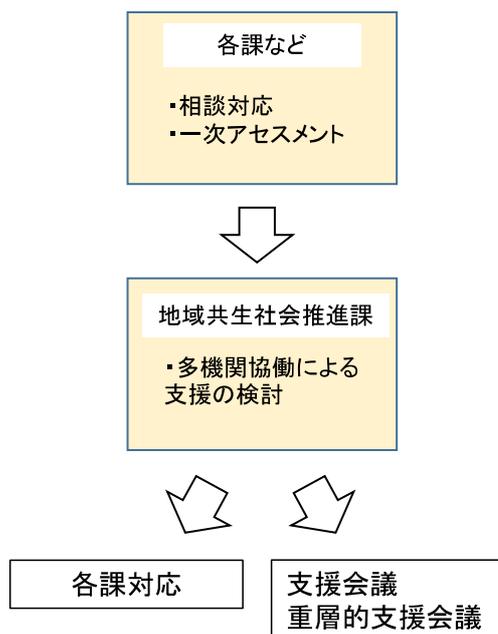
- ・居宅介護支援事業所連絡協議会ブロック会
- ・介護保険サービス事業所
(介護保険課からの連絡を一本化。FAX送信を廃止)
- ・障害福祉サービス事業所 など

令和5年度からは集計ソフトの変更のため、カテゴリ検索における分野ごとのPV数は報告なし。

6 多機関協働による支援

① 多機関協働による支援のフロー

複合課題を抱えている世帯に対する支援



年 度		R4	R5
相談受付		18	10
支援会議等	実数	10	7
	延べ数	12	15
事例分類 ※重複あり	8050	1	0
	ダブルケア	0	0
	ごみ屋敷	5	2
	ひきこもり	5	0
	不登校	4	1
	ヤングケアラー	0	0
	医療の必要	5	2
その他	0	2	

さらに事例を積み上げ、高知市の強み・弱みを見える化。
新たな仕組み・制度の構築、社会資源の創出につなげる

6 多機関協働による支援

② 多機関協働のガイドライン

～ 多機関協働のガイドライン ～

- スムーズに協働するための流れ等について定めたもの
- 支援する側が、常にベストを尽くせるように「しっかり協力する」ためのガイドライン
- より良い支援につなげることと合わせて、支援する側の職員も支える。
- 状況に合わせて柔軟な発想で支援する
- ガイドラインには、対象者像、フローなど、基本的な協働のルールについて記載
- このガイドラインはあくまで重層事業スタート時点のものであり、適宜見直しを行う

～協働の心得～

- 第一条 支援者のしんどさを、みんなできちんと共有するべし**
(×「そんなことくらい自分でできんか?」)
- 第二条 相談がなくても気にかけて合うべし**
(ベテラン職員は、お節介りな親切のバランスを考慮して。)
- 第三条 情報不足を気にせんと、困ったら会議に挙げるべし**
(保守的な躊躇は厳禁。自分の恥ずかしさより支援者への支援。)
- 第四条 会議開催の連絡があったら、「必ず参加します。」と言うべし**
(自分も忙しいけど、みんなも忙しい。日常的な相談にも快く応じるべし。)
- 第五条 会議のはじめに目的を共有するべし**
(それってなんのため?)
- 第六条 所属や担当にこだわらんと、積極的に発言するべし**
(「その分野は素人で…」「事務職やけど…」←そんなこと気にするな!)
- 第七条 K (空気を) Y (読まない) 発言を容認すべし**
(KYの容認が、新しい発想、新たな気づきが生まれる風土につながる。)
- 第八条 聞かれたことが分からないときは「分かりません」と伝えるべし**
(「分かりません」と答えた人を責めるべからず。×「そんなことも調べてないか?」)
- 第九条 みんな初めは経験不足ということを中心に刻め!**
(「細かく聞かれたら…」「ちゃんと説明できるうか…」←そんなこと気にするな。)
- 第十条 若手職員へ。先輩の指摘はダメ出しじゃなくてアドバイスやきね**
(怖く感じる人もおるかもしれんけど…)
- 第十一条 ベテラン職員は、第九条・第十条を心に刻むべし**
(NO! 経験値マウント!)
- 第十二条 守秘義務は必ず守るべし!**
(捕まるよ。マジで。)
- 第十三条 QOLの重視、エンパワメント、支援対象者の主体性を尊重しよう**
(これが支援の基本!)

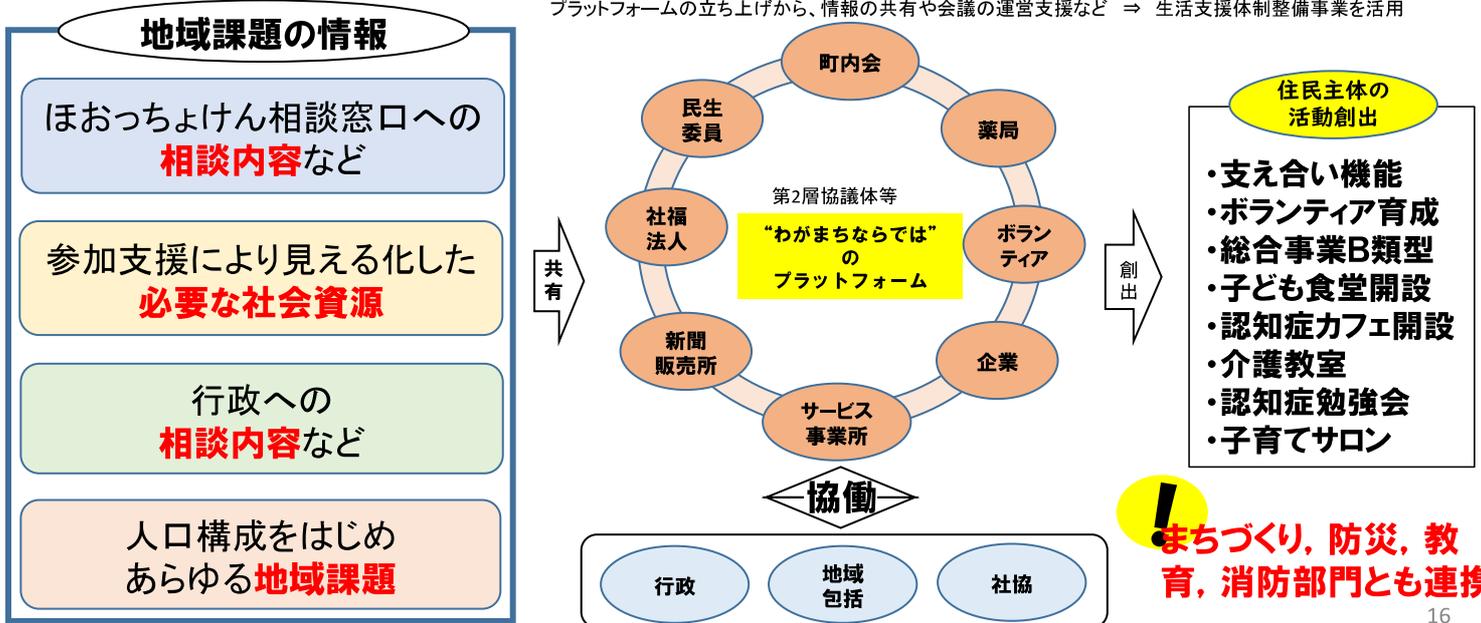
7 地域づくりに向けた支援

① “相談”を地域づくりへ

“相談”を地域づくりへ

課題解決型の地域ネットワーク “わがまちならでは” のプラットフォームの創出

プラットフォームの立ち上げから、情報の共有や会議の運営支援など → 生活支援体制整備事業を活用



防災福祉部会

地域づくりに関わる関係部署が、より効率的・効果的に地域づくりを進めるため、**情報共有や連携を深める**ことを目的に設置している場

小学校区ごとに担当者が集まり「地域課題の共有」や「施策の連携」、「新たな取組の創出」などを協議している。

- ・地域共生社会推進課(全体調整)
- ・地域コミュニティ推進課(まちづくり)
- ・地域防災推進課(防災)
- ・基幹型地域包括支援センター(福祉)
- ・地域協働課(社会福祉協議会)

+

- ・消防局
- ・教育委員会
- ・市民図書館

切り口は違っても

地域共生社会推進課・市社協

「ほおっちょけん相談窓口」への住民の日常生活の困りごとなどを地域住民、地域団体、企業、行政などが集まって共有し、住民主体の日常的な支え合いのある地域をつくる。

地域包括支援センター

高齢者の困りごとや高齢者の居場所づくり、介護予防などを切り口に、支え合いのある地域をつくる。

地域コミュニティ推進課

「こんな街にしたい」「夏祭りを復活させたい」など、住民の興味・関心のあることを切り口に地域コミュニティの再構築に取り組む。地域内連携協議会の支援、町内会連合会の支援など

地域防災推進課

災害時に住民同士が助け合える地域をつくる。自主防災組織の支援、避難行動要支援者対策など

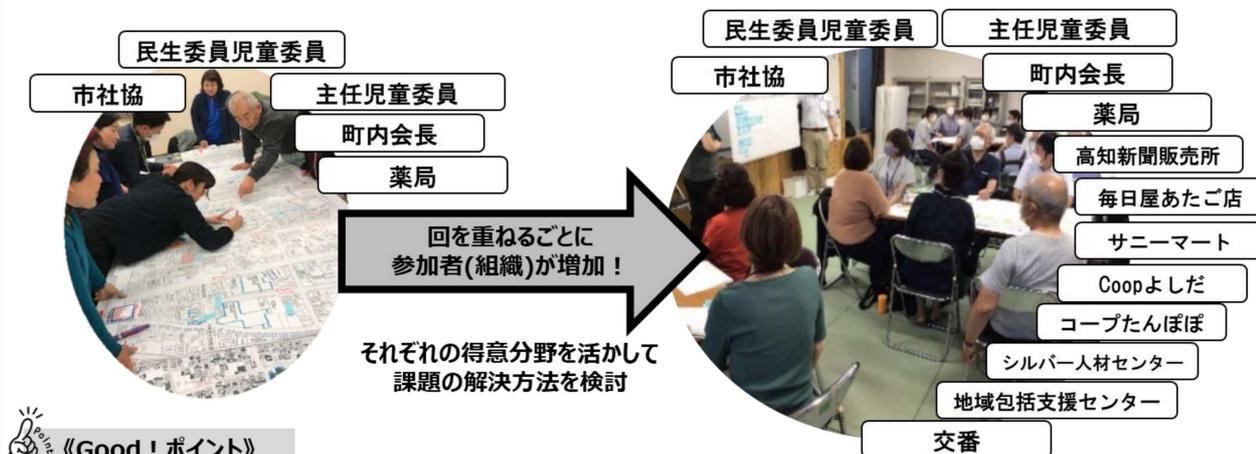
“つながりづくり”の

7 地域づくりに向けた支援

④ “わがまちならでは” のネットワークの事例

事例 広がるネットワーク（江ノ口西地区）

※当初は既存の会議体を活用していたが、参加者の増加に伴い、新たな会議体として立上げ



👉 **《Good! ポイント》**

【1】 “今あるもの” にフォーカス

地域の中にすでにあるもの、企業や有償ボランティア団体がすでにやっているサービス etc... “今あるもの”を見える化し、活用することで、地域の困りごとを解決するという視点

後日談として...

参加していない民生委員にも定例会を通じて企業のサービスを周知 ⇒ 企業への依頼件数UP 困っている人に情報が届く仕組みへ

【2】 住民目線で感じる困りごとを題材に

専門職発信の課題だけでなく、その地域で暮らしている住民が感じている困りごとについても相談・検討出来る場づくり (例)ネコ問題, 高齢化による町内会活動の人材不足 (不燃物の当番等) 等

6 地域づくりに向けた支援

⑤ 生活支援ボランティア

生活支援ボランティア

高齢者等の社会参加の機会

生活支援サービスの開発

地域における支え合いの意識の醸成

養成

登録

活動支援

養成講座の
開催

ボランティアセンター
登録

困りごととの
マッチング

《利用にあたっての注意点》

□生活支援ボランティアの5原則

- ①無償である ②専門的でない ③短時間の活動 ④単発の活動 ⑤身体的介助は伴わない

※生活支援ボランティアは、高知市社協の実施する所定の養成講座を受講し、登録していただいているボランティアで、ボランティア活動保険に加入。

□基本的な考え方

住民同士をつなぐ支え合いの仕組みであり、地域や困りごとの内容によっては、依頼を受けられないことがある。

6 地域づくりに向けた支援

⑥ 生活支援ボランティアの活動事例

買物同行

スーパーに行って買い物をしたいが、足が悪く1人では行けない。同居の家族の協力も得られず、生活費も限られているため誰か同行してほしい。

独居高齢者宅の電球交換

家の電球が点かなくなり、スタンドライトのわずかな光で生活している。本人は高齢、自分で交換するのは危険なため、交換をお願いしたい。

障がいのある方の自宅清掃

強迫性障害のある方。片付けに対するこだわりや汚れることへの不安感から一人で片付けが出来ない。今後のヘルパー利用前に部屋の片づけをしたい。

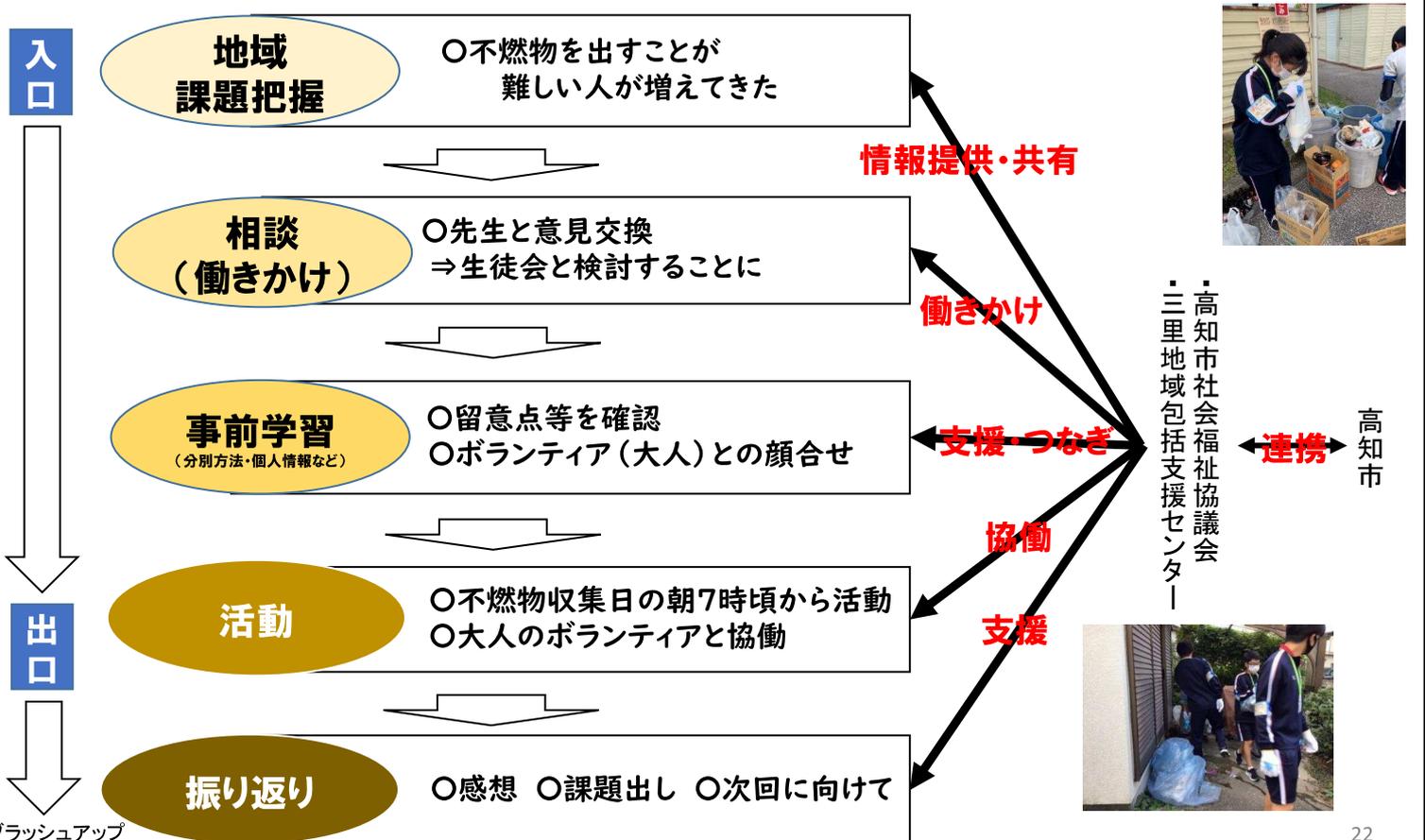
障がいのある方の自宅清掃

エアコンのフィルター清掃が一人ではできないため手伝ってほしい。



6 地域づくりに向けた支援

⑦ 三里中学校ゴミ出しボランティア



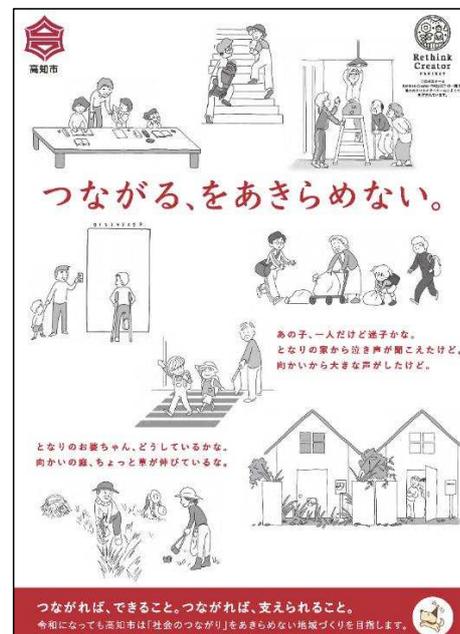
企業の社会貢献の思い

<p>高齢者に関する地域貢献活動</p> <p>●×スーパー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物支援 ・一人暮らし世帯の見守り活動 ・生活支援 	<p>自然や環境に関する地域貢献活動</p> <p>●×事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園や道路などの清掃 ・緑化活動 ・ゴミ拾いイベント 		<p>【ユニクロ】</p> <p>高齢者と障がい者のための買物支援</p>
<p>子どもに関する地域貢献活動</p> <p>●×サービス業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂のお手伝い ・学習支援 ・職業体験イベントの実施 	<p>まちづくりのための地域貢献活動</p> <p>●×株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の居場所づくり ・多世代交流型イベントの実施 		<p>開店前の時間に貸切サービスを実施</p> <p>ゆっくり買物ができて良かった。</p> <p>普段は着ないような派手な服を買った。10歳は若返った。</p>

住民ニーズや地域課題

ポスターを掲示しませんか？

ポスター掲示場所募集



事例発表③

「土佐清水市で

暮らし続けていくために」

特定非営利活動法人

ふくしねっとCoCoてらす

事務局長 西本 久美香 氏

事務局次長 速川 志保 氏

..... Memo

.....

「地域共生社会を支援する」シンポジウム

土佐清水市で暮し続けていくために



特定非営利活動法人 ふくしねっとCoCoてらす
西本 久美香

目次

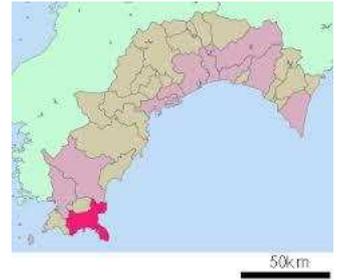
- 1.わがまち土佐清水について
- 2.特定非営利活動法人として「ふくしねっとCoCoてらす」を設立した背景
- 3.課題から取り組んだ事業
- 4.ふくしねっとCoCoてらすの強みと今後の取り組み

1.わがまち土佐清水について

高知県西南端

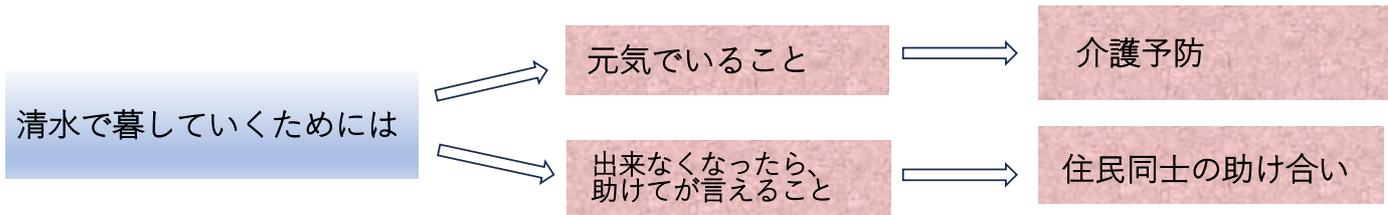
空港から一番遠い市（3時間半～4時間）

高知市まで車で（2時間半～3時間）



温暖な気候、自然豊か

土佐清水市の各地区には区長を中心とした地区住民によって組織される「自治会」があります。



各地区の集会所を拠点に「いきいきサロン」や「健康教室」など様々な取り組みが進められていました。

しかし・・・

少子高齢化、人手不足、専門職不足、サービス不足など予測以上のスピードで進む！！

そして・・・

緊急事案勃発

平成30年6月30日で障害者相談支援事業所1か所が休止になることにより、利用者50数名がサービスを使うことが出来なくなる。

喫緊課題

ヘルパー事業所の登録ヘルパー不足からサービスを利用できない人が出てきた。今後、ヘルパーを使えない人が増えていくことが予想される。

2. 特定非営利活動法人として「ふくしねっとCoCoてらす」を設立した背景

迅速に課題解決に向け事業展開できるNPOが必要！！



特定非営利法人

ふくしねっとCoCoてらす

✿設立

平成30年3月15日

✿開所

平成30年4月1日

✿ふくしねっとCoCoてらす

相談支援事業所

平成30年4月1日

✿平成30年度

職員2人

3. 「課題から取り組んだ事業」(平成30年度～)

課題	事業名	内容	効果
ヘルパー不足	生活支援サポーター養成事業 要支援者在宅生活サポート事業 高齢者生活支援サポート事業	①養成研修 ②登録 ③フォローアップ研修 ④コーディネート ⑤派遣	・登録93人(実働46人) ・サポーターの介護予防(役割)
外出困難、 介護サービス拒否	認知症高齢者見守り支援事業	①養成研修 ②登録 ③フォローアップ研修 ④コーディネート ⑤派遣	・登録135人(専7人) (実働54人) ・見守り支援員の介護予防(役割)
介護施設の人材不足	施設介護ボランティア推進事業	①養成研修 ②登録 ③フォローアップ研修 ④コーディネート ⑤派遣	・登録47人(高校生16人) ・ボランティア同士の交流
相談支援事業所不足	障害者相談支援事業 指定特定相談支援事業	①相談対応(訪問、来所) ②計画相談作成	・相談対応(20件/月) ・計画相談 25件

3. 「課題から取り組んだ事業」 (令和元年度～)

課題	事業名	内容	効果
障害児者の重度化・高齢化「親亡き後」	地域生活支援拠点事業	①支援機関連携研修会 ②市民対象研修会③当事者の勉強会 ④広報啓発（冊子全戸配布） ⑤実態把握調査（サービスを使っていない3障害の方）	・支援機関の顔の見える関係づくり ・当事者同士のつながり ・年一度の訪問を続けることで、困った時の相談機関として認識
身寄りの居ない方の増加	法人後見事業	①後見2人②保佐2人③補助1人	・本人・親族の安心 ・施設サービス事業所の負担軽減
ひきこもり、障害者等の楽しみがない	福祉農園	①さつまいも・ジャガイモ植え付け作業 ②収穫作業 ③産業祭出店	・作業体験 ・交流

3. 「課題から取り組んだ事業」 (令和5年度～)

課題	事業名	内容	効果
住民誰もが自由に交流できる場所がない。ちょっとした困りごとを相談するところがない。	あったかふれあいセンター事業	①集い（介護予防体操、放課後支援等） 第2週土曜（レインボーカフェ） 第3週土曜（スマイルカフェ） 第4週土曜（オレンジカフェ） ②相談、訪問、つなぎ ③生活支援	・子ども、高齢者、障害者、認知症の方、家族、様々な方が集まることが出来る。 ・片付けや電池交換などちょっとした支援。 ・連携機関へのつなぎ。
福祉人材の不足によりサービス提供が不安定。身寄りのない方への支援に関係者が苦悩。	土佐清水市在宅医療・介護連携推進事業	①在宅医療多職種連携協議会設置 1/月（コア会議として開催） ②医療・介護関係者の情報共有 ③在宅医療・介護提供体制の構築 ④市民公開講座 ⑤関係機関の研修会 ⑥在宅支援相談室の設置 ⑦資源マップづくり、情報発信の強化	・市内の医療、介護関係者が一堂に会して課題協議 ・土佐清水水版事前指示書作成 ・身寄りのない方への支援についての体制構築を目指し取り組んでいる。
頼れる人がいない。入院、入所などの手続きが出来ない。死んだ後のことが心配	成年後見・あんしんサポート事業	①見守りサービス ②安心サービス	・実施要綱、審査会要綱契約書等作成中



ひとり一人の笑顔のために



特定非営利活動法人
ふくしねっとCoCoてらす



〒787-0321
高知県土佐清水市浜町6番22号
シェアオフィス土佐清水 2号室
電話 0880-87-9209
FAX 0880-87-9216
メール cocoterrace@fukushinet.or.jp
HP http://www.fukushinet.or.jp/



「あなたらしく生きてほしい」

ふくしねっとCoCoてらすは、一人ひとり(個々)の居る場所(ココ)と、そのひとの心に光をあてる(照らす)活動として、下記の事業をしています。

CoCoてらすの活動

医療・介護、その他の地域サービスをつなぎ、福祉のネットワーク(ふくしねっと)を広げて地域に貢献できるような活動をしていきます。
土佐清水のだれもが生涯いきいきと、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援します。



- 生活支援サポーター養成事業
- 要支援者在宅生活サポート事業
- 高齢者生活支援サポート事業
- 認知症高齢者見守り支援事業
- 施設介護ボランティア推進事業
- 在宅医療・介護連携推進事業
- 法人後見事業
- 成年後見・あんしんサポート事業
- 障害者相談支援事業
- 指定特定相談支援事業
- 地域生活支援拠点事業
- あったかふれあいセンター事業

CoCoてらす相談支援事業

障がい児・者、ご家族の皆さんが日常生活の中で困っている、悩んでいることや、いろいろな制度の手続きなどの「そうだん」をお受けしています。



相談支援専門員が障害福祉サービスの利用を希望している方にお話を伺い、状況やご希望に合わせて、サービス等利用計画を作成します。

また、現在ご利用されている障害福祉サービスのモニタリングを行います。

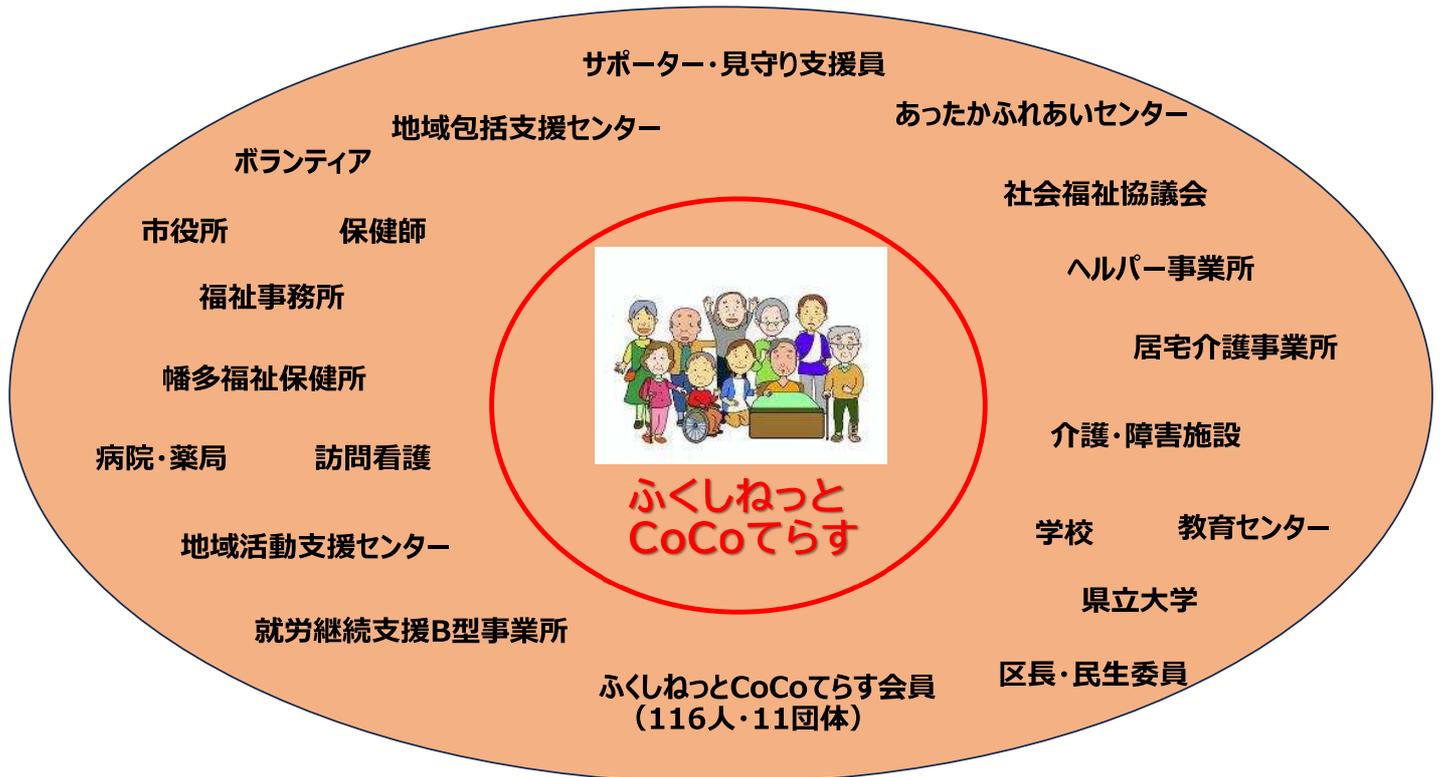
障がいの認定はないけれど、精神的な理由で仕事の継続が困難な方の再就職や、住み慣れた地域で安心して暮らすための相談支援も実施しています。

またCoCoてらすの事務所は、どなたでも来ていただけるようにカフェ的な雰囲気になっています。



- 開館日・開設時間
月～金曜日：午前8時30分～午後5時00分
※土・日曜日、祝日、年末年始
(12月29日から1月3日)はお休みです
- ご利用料金 無料

4.ふくしねっとCoCoてらすの強みと今後の取り組み



4.ふくしねっとCoCoてらすの強みと今後の取り組み

土佐清水市の現状

(令和5年11月30日現在)

人口・・・11,973人 高齢化率・・・51.5%

ふくしねっと

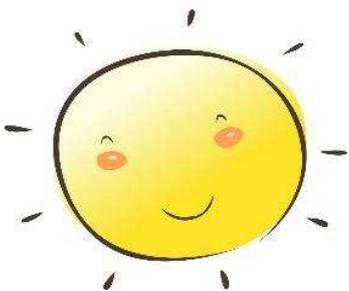
♥ ふくしのネットワークで助け合いましょう

CoCoてらす

♥ あなたの居るココを照らします

♥ 個々を照らします

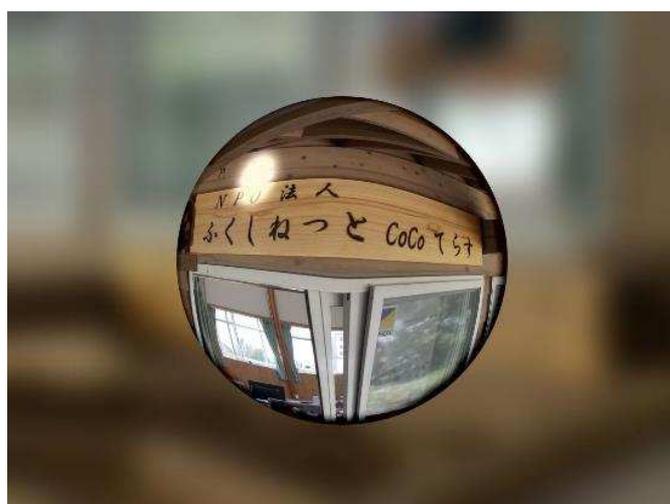
♥ あなたの心を照らします



4.ふくしねっとCoCoてらすの強みと今後の取り組み

課題解決のため

できる人が、できる時に、できる事を



ご清聴ありがとうございました